

# 令和6年度 市民と市長の地域懇談会報告書



開催日	会場	参加者数	ページ
10/2 (水)	<a href="#">文化会館</a>	19	1~5
10/3 (木)	<a href="#">南コミュニティセンター</a>	11	6~9
10/17 (木)	<a href="#">ふれあいセンター</a>	17	10~14
10/21 (月)	<a href="#">西地区コミュニティセンター</a>	13	15~18
10/22 (火)	<a href="#">山部福祉センター</a>	16	19~25
10/28 (月)	<a href="#">東山支所</a>	22	26~32
10/30 (水)	<a href="#">麓郷集落センター</a>	26	33~39
11/8 (金)	<a href="#">布部会館</a>	8	40~44
11/22 (金)	<a href="#">鳥沼会館</a>	14	45~48
アンケート集計結果			49

会場名をクリックすると該当ページに移動します

## 令和6年度 未来をつくろう市民と市長の地域懇談会

日時 10月2日(水) 18:30~20:30

場所 文化会館(複合庁舎1階会議室ABC)

参加者 19人(うち職員13人)

### 1. 開会 司会~小笠原企画振興課長~

### 2. 市長挨拶

令和6年度の地域懇談会ということで、今日が第1回目となります。お足元が悪いなかお集まりいただきありがとうございます。

今年を振り返ると昨年までとはいかなかったにしろ暑い夏でした。7~8月は連続して30度を超える日もありましたが、皆様の健康管理にも助けられ、大きな事故なく過ぎました。昨年の猛暑があり、今年は冷房対策にも力を入れました。子どもたち、お年寄りの施設から整備しています。学校については、不測の事態もあり遅れていますが、現在のところ冬休み、春休みに工事を行い、6月ぐらいには工事を終えたいと思っています。来年の夏がどうなるかわかりませんが、子どもたち教育環境改善にむけて努力していきたいと思えます。

今年の重点施策について説明をしますが、人材確保対策については、市役所を含めてどこの職場でも、募集をしても集まらない状況にあります。これを改善しなければ市の経済にも課題が生じてきます。また、企業だけではなく富良野市全体の振興発展にも影響がでますので、昨年1年かけて事業者の皆さん住んでいる方からご意見をいただき、人材確保対策について今年の4月から実施をしています。既存もあわせて24の施策を取り組んでいます。

これらの効果がでるのはまだ先になるかもしれませんが、富良野市の8月末人口は、で19,667名となり、20名が日本の方で減少しています。加えて、外国人の方は7名が増加しています。外国人が前年の同期から比べると100名が増加しています。富良野市の人口減少問題についても、外国人

の方が住んでいただくことで歯止めがかかっているのが現状かと思えます。人材確保対策では、移住・定住、職場環境改善に取り組んでいる中で、現在も家族で移住を検討しているという話も伺っています。人の動きで人口減少・少子化に対して少しずつ歯止めがかかってきているのかと思えます。

今日の市政執行方針でも紹介しますが、就任以来「健幸都市」を主な政策として取り組んでいます。また、人材確保とDXを今年の重点施策、ゼロカーボンについては脱炭素に向けて2030年までに富良野市では、60%減に向けて取り組みを進めているところです。シティプロモーションについては、住んでいる方に誇りを持っていただく、富良野市の良さを磨き上げる、新たなものを掘り起こすことが取り組んでいます。人口減少を解決するにはまちの魅力を高めていくことが大事だということで部署を設置しています。また、地域を支える外国人についても情報提供させていただきます。

その後に地域の皆様から施策のご提案や地域の課題についてお聞かせいただければと思います。多様性の時代になってきていますので、行政だけが施策をつくっていくことにはならない時代になっています。皆様からご意見、一緒にまちづくりを進めていく姿勢が大事だと思います。ぜひ皆様のご意見をお聞かせいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

### 出席者紹介

- ・稲葉副市長
- ・関澤総務部長
- ・西野SC戦略室長
- ・北川市民生活部長

- ・柿本保健福祉部長
- ・本田経済部長
- ・川上ぶどう果樹研究所長
- ・西出建設水道部長
- ・佐藤教育部長
- ・小笠原企画振興課長

### 3. 情報提供 進行～稲葉副市長～

#### 1) 市政執行方針重点施策の取り組みについて

- ・4つの重点施策の概要と主な取り組みについて  
～小笠原企画振興課長 資料について説明～

#### ・健幸ポイント事業について

～柿本保健福祉部長 資料について説明～

#### 2) 地域を支える外国人について

～小笠原企画振興課長 資料について説明～

市民

富良野のスキー場が FIS の公認をとっていないので、ワールドカップなどを行うのであれば FIS の公認をとることが先かと思えます。

太陽の里について、冬のキャンプも流行っていますので、検討いただければと思います。

ゼロカーボンについて、再生可能エネルギーの補助の拡充（蓄電池、ヒートポンプ）を検討していただきたい。

森林について、東大演習林の見学会に参加しました。その際に東大演習林の木材を利用した箸を紹介してもらいました。東大演習林の木材などを利用したものをふるさと納税などに活用してはどうかと思えます。

稲葉副市長

スキー場の FIS 公認についてはスキー場と情報共有していますので把握しています。太陽の里の冬キャンプについてはご意見として受け止めてよろしいでしょうか。

北川市民生活部長

再生可能エネルギーの補助について、今年から拡充しましたが、検討しながら進めています。昨年の実績は太陽光発電が 15 件、ペレットストーブが 3 件、薪ストーブが 4 件です。今年度が今日現在、太陽光発電が 4 件、薪ストーブが 5 件です。これには申請中のものは含まれていません。そのような中、エアコン等への補助については、経済部で事業所に対する職場環境改善事業の補助があります。また、エアコン等の設置については省エネに対応する製品などの使用をお願いしながら、ゼロカーボンに向けた取り組みをしています。

稲葉副市長

東大演習林の箸については、情報共有をしながら検討したいと思えます。

市民

市長就任以来、目玉事業の健幸ポイント事業がこんなにも成果を出しています。これからも病院に通わない市民を増やすべく、市の取り組みを強化してほしい。また、今年に発行された JP01 に富良野のすごいところが紹介されていました。北市長は人口が少ないなりの市政の進め方があると頼もしい発言がありましたが、人口が 20,000 人に回復するよう、富良野の魅力・市の事業を紹介して、移住者を増やす事業を進めてもらえないかと思えます。

稲葉副市長

ご意見として承ります。

### 4. 地域との意見交換

市民

新規創業応援事業の年齢制限はありますか。他の地域では 50 歳までというのもありました。

住宅手当の家賃補助について、他の地域では住宅手当を支給できる事業所は少ないので、事業所ではなく、直接補助を行っているところもありま

す。他の地域では色々な補助を行っているので、移住者が増えたりしているところがあります。富良野市でも方法を検討してほしいと思います。

IT 導入支援事業について、市民向けの研修会などを企画してほしい。

観光協会のふるさと応援会員として応援をしていました。その制度のPRがされていない。また、週末のコンシェルジュプラノ観光インフォメーションにスタッフが常駐していない。そのような対応でいいのだろうか。

ふるさと納税に、観光協会のふるさと応援会員の負担金をメニューとしていれてはどうだろうか。

WeChat での情報発信について、観光協会等で周知されていない。これまでの情報が蓄積されていると思うので、観光協会のホームページで簡体字をつかってリンクなどはできないだろうか。

本田経済部長

新規創業応援事業について、39 歳以下の場合に加算はありますが、年齢制限はありません。

家賃補助について、富良野市内は家賃相場が高いということが課題になっています。基本的には事業所が一定支援をしていくべきという考えに基づき、住宅手当等を行っている事業所に支援をしています。住宅支援をしている事業所が少ないので対象者がいなのではというご意見でしたが、そういうスタンスで進めています。加えて、富良野市は国の制度に加えて独自の制度も実施していますので、トータルで対応させていただければと思います。

IT 導入について、市民向けや社員向けのセミナーを開催してはということですが、商工会議所と連携して事業所向けに開催しています。

観光協会のふるさと応援の申し込みがわかりにくいということですが、観光協会で運用していることなので、お答えできるものではありませんが、状況について確認をします。日曜日のコンシェルジュプラノに人がいなくて対応できていないとい

うことですが、こちらについても状況を確認して対応させていただきたいと思います。

WeChat について、観光情報を中国向けに発信しています。WeChat は中国本土が利用する SNS の機能に加えて、付随する機能がたくさんあります。ご意見の趣旨として、観光協会のホームページを活用して情報発信してはどうかということだと思います。中国本土から日本のホームページは見ることはできないので、WeChat を使っている経過がありますので、引き続き行っていきたいと思います。また、横連携についても必要だということご意見いただきましたので、今後も続けて前進できるよう努力したいと思います。

市民

WeChat は越境 EC で直接通販もできますし、中華圏の国も使えるので、有効に活用してもらいたいです。

市民

介護現場がどうなっているのか。人材不足で施設が閉鎖や経営規模の縮小などが原因かと思えます。富良野市として介護施設がなくなってしまうと他地域への移住など人口問題にも影響が出てしまうと思います。人材確保に対して、企業の存続や人材育成を拡充して取り組んでもらいたいと思います。

北の峰地域は、コロナ前の開発行為から工事が進んでいない状況です。市の方で状況がわかっているのであれば教えていただきたい。休止をしているところは、土地の管理がちゃんとできていないところもあり、地域としても不安に思っています。市街地も同様の状況があると伺っています。今後の対応策についてよろしく願います。

ハイランドふらの、太陽の里など市民の憩いの場所が老朽化していると思います。富良野の観光施設として、改修などをしていただきたいと思います。

人材確保について、個人企業に対しての支援も同様だと思いますが、家族に引き継ぐ場合にどのような支援があるのか。なければ家族経営の企業に対しても支援が必要だと思います。

柿本保健福祉部長

介護の人材確保については、同じ認識です。今年からの人材確保に対する支援において、介護職の方に対して加算措置を行っています。現在働いている介護職の方に対して、キャリアアップに対する支援も拡充しています。新たな取り組みとしては、潜在的にいる介護に興味のある方への働きかけや、元介護従事者にもう一度現場に働いていただくための支援など今年度から始めていますが、まだ結果につながっていないところもありますので、引き続き介護事業者の方々と意見交換をしながら、一緒に富良野に相応しい支援を模索したいと思います。また、市内の介護事業所において外国人の方が増えてきていますし、重要になってきていますので、受け入れる事業所に対する支援の拡充も検討していきたいと思います。

西出建設水道部長

開発行為について、届け出が出ている工事については、市から指導できますが、個人の場合は取引等を制限することはできません。土地の維持管理が問題になってきていますが、建築として指導できないのが課題となっています。空き家になり、近隣に迷惑がかかるようになれば空き家対策としての対応をすることができます。

北川市民生活部長

土地の雑草やごみなどの問題について、苦情が寄せられています。環境の面から土地所有者に注意喚起をすることができますので、そのような状況がありましたら、環境部門と空き家部門に相談いただき対応したいと考えています。

太陽の里などの老朽化については、公園遊具は

点検を行い、基準に合わないものは使用を控えていただいています。太陽の里の魅力アップについては、地域の方と意見交換をしながら、地域おこし協力隊員を配置し、進めているところです。

本田経済部長

ハイランドふらのについては、施設の改修などを行ってきているところですが、これからも維持管理に努めていきたいと思います。

個人事業主で後継ぎされる方への支援は、情報提供でお伝えした制度を使えないものもあります。後継ぎ対策については、これまでも議論をしていますが、引き続き検討を進めたいと思います。

北市長

北の峰地域の開発行為について、担当から説明がありましたが、土地所有者に対して適切に管理をするように申し入れをしています。

市民

太陽の里の老朽化については 10 年前から話をしていると思います。前に進める形で市が率先して進めてもらいたい。

1 点だけ、お答えはできないかと思いますが、9 月議会で学校のクーラーについて、あの一般質問はいかがなものかと思いました。既に予算が可決され、現在事業が進行しているものに対して質問はいいのかと思いました。議会側と色々あったと思いますが、議会はルールの中で執行者に対する質問をするべきだと思います。

稲葉副市長

最後の部分については、私たちがお答えできるものではありませんが、議会の方とも意見交換の際に伝えたいと思います。

市民

クーラーの関係について、なぜ事業が遅れたの

か教えてほしい。

佐藤教育部長

4月にプロポーザルを行い、業者を決め進めてきたところですが、不測の事態があり企業から辞退申し入れがありました。教育委員会としては早期に設置するには事業を継続していただくことが一番だと思いましたので、協議を進めて再開することになりました。設置するものについても当初計画していたものを設置することですすめています。時期は変わりますが、事業者や事業内容は変わりません。

市民

介護について、実際に働いている方の声を聴いてほしいと思います。現場では腰痛やひじなどを痛めている人が多いと伺っています。そういうことが多いので、担い手や継続が難しいと聞いています。

柿本保健福祉部長

常々介護事業所の方々と情報共有や意見交換を行っています。介護の現場は厳しいということと働いている方の高齢化というのが全国共通の課題だと思います。全体の人数を確保するためには、外国人の方も必要ですし、また、国では働いている方の作業を軽減するICT技術や機械に対する補助もあります。今後富良野市内でも必要になってくると思います。

市民

実際に現場の人の声を聴いて欲しいと思います。長く継続してもらえるようにしてもらいたいと思います。

市民

スキーホストボランティアをずっとしてきました。スタート時はスキー場のご厚意でリフト券が

無料でした。5年ぐらい前からリフト券は各自負担となり、一般と同額になりました。有料になったことで、多くの方が辞められたが、なんとか継続してきました。先日 Facebook のスキーホストのページで急にこのプログラムが廃止になりますと書き込まれました。私たちには廃止の連絡が一切ありませんでした。辞めるなら辞めることで仕方がないですが、メンバーへの連絡があるべきかと思います。

稲葉副市長

そのことについては承知していなかったのですが、プリンスホテルと意見交換をする際にはそのような話をしたいと思います。

市民

総合案内の方や職員が優しく対応していただけてありがとうございます。特に総合窓口の方は困っていたらすぐに声をかけてくれる。

稲葉副市長

他にご意見がないようなので、最後に市長より一言お願いします。

北市長

約2時間になりましたが、長時間にわたり熱心に情報提供をお聞きいただき、さらに普段皆さんが感じていることにご意見もいただきました。大変貴重なご意見をいただきましたし、普段我々が気付かないことにもご指摘いただいたと思いますので、今日いただいた意見を大切にしながら実現できるものは早急に、検討が必要なものは検討しあながら実施に向けて対応したいと思います。

最後に窓口対応についていいお話をいただきました。これで終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。

**6. 閉会** ～小笠原企画振興課長～

# 令和6年度 未来をつくろう市民と市長の地域懇談会

日時 10月3日(木) 18:30~20:00

場所 南コミュニティセンター

参加者 11人(うち職員2人)

## 1. 開会 司会~小笠原企画振興課長~

## 2. 市長挨拶

令和6年度の地域懇談会ということで、昨日から始まりました。地域懇談会の日程については皆様の都合にあるタイミングで行うことができないことをお詫びいたします。都合が悪くて本日参加できなかった方は、どこの会場でも出席していただいても構いませんので、機会があればご紹介していただければとおもいます。

情報提供ということで、今年の重点施策について説明をします。健幸都市、人材確保とDX、ゼロカーボン、シティプロモーションの4点になります。加えて健幸ポイントと地域を支える外国人について情報提供させていただきます。

今、市民の多様な要望が増えてきています。そういった中で、大事なのは市民の声を一つ一つの事業に反映していくことが求められていると感じています。4つの重点施策について取り組みを進めていますが、皆様から建設的なご意見をいただきながらより良い方向で展開できればとオツ持っています。

また、意見交換ということで、普段から皆さんが感じている行政に対するご意見、こんなことを地域でできればなということをお聞かせいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

## 出席者紹介

- ・稲葉副市長
- ・近内教育長
- ・関澤総務部長
- ・西野SC戦略室長
- ・北川市民生活部長
- ・柿本保健福祉部長

- ・本田経済部長
- ・川上ぶどう果樹研究所長
- ・西出建設水道部長
- ・佐藤教育部長
- ・小笠原企画振興課長

## 3. 情報提供 進行~稲葉副市長~

### 1) 市政執行方針重点施策の取り組みについて

- ・4つの重点施策の概要と主な取り組みについて  
~小笠原企画振興課長 資料について説明~

### ・健幸ポイント事業について

~柿本保健福祉部長 資料について説明~

### 2) 地域を支える外国人について

~小笠原企画振興課長 資料について説明~

市民

市有林をJクレジット創出というのはどのような制度ですか。

北川市民生活部長

富良野市では、CO2の排出削減にむけて、市有林が吸収した二酸化炭素をクレジットとして商品化していくこととなります。それを将来的に支払いやふるさと納税の返礼品にするなどがあります。8年かけて吸収量を調査し、審査機関に提出することで値が評価されます。今後それを財源としても活用できますし、ゼロカーボンに近づける取り組みになります。

## 4. 地域との意見交換

市民

本通りの歩道について、浸透性の歩道になっているが、雨が降ると水たまりが結構できる。勾配

をつけた普通の歩道にできないでしょうか。

西出建設水道部長

現地を確認したいと思います。浸透性の歩道とはいいつつ勾配をつけて雨水枡に流れるようにしていますが、溜まっている箇所は確認して対応したいと思います。道路の整備については予算もありますので、順次していきたいと思います。

市民

時間がかかると思うので、例えば縁石に穴をあけるなどの対応はできないですか。

西出建設水道部長

現場を見てどのような対応ができるのかを検討したいと思います。

稲葉副市長

確認ですが、本通り全体でしょうか。一部ひどいところがありますか。

市民

4丁目の西側の市役所寄りがひどい。

稲葉副市長

現地を確認して対応させていただきたいと思います。

市民

根室本線が廃止になったが、線路跡地についてJRや市で計画はありますか。

小笠原企画振興課長

跡地の利活用については、検討している事項は駅舎の活用があります。布部駅、山部駅は地域で活用が検討されています。線路については全くの白紙で用途は定まっていない状況です。

市民

朝日町のリバーモール遊歩道の枕木が腐っていて、転びそうになった。観光客やお子さんが集まる場所なので、点検してもらいたい。

栄町と春日町にまたがる歩道橋が傷んでいます。以前改修してもらったが、それより傷んでいます。コンクリートが崩れ、鉄骨も錆びているので、子どもも通るみちなので、点検して補修してほしい。

何年も前からアメリカオニアザミという外来種が街中に点在してきている。トゲもあり危ないので、なんとか啓発をしてほしい。

西出建設水道部長

リバーモールの枕木については確認をしています。どのような対策がいいのかを検討して早急に整備したいと思います。小さな補修はこれまでも行っているが、大きな補修が必要かと思っておりますのでご理解ください。

歩道橋について、橋梁点検時にどのような補修が必要かを確認して優先順位をつけて対応したいと思います。

北川市民生活部長

他の地域でも問題になっています。市内で生えているのは植樹枡ですか。

市民

建物の間や駐車場などいたるところに生えている。

北川市民生活部長

市道であれば私たちが対応できます。また外来種の種類によって抜いた後の処理が異なるので、確認して広報等で周知したいと思います。

市民

私は抜いて処理していますが、市の枝草で出しはだめでしょうか。

北川市民生活部長

市の枝草として出していただければ問題ありません。敷地内で放置してしまうと種子が広がってしまうので、枝草類として出していただければ大丈夫です。

市民

最近の水害を見ると市街地の排水溝からあふれているように見える。富良野市では、側溝の定期的な整備はどのような計画で行っているのか。

西出建設水道部長

点検については、全体清掃などの対応がしきれていない状況があり、詰まっているなどの情報が入り次第対応している現状です。流れが悪い、ゆがんでいるなどの情報をいただければ確認をして、順次対応していきたいと思います。

市民

あくまで、市民からの通報が重要ということですか。

西出建設水道部長

雨の日にパトロールも行っていますが、人数も限られているので市民から通報があればすぐに確認もできますので情報提供いただければと思います。

市民

定期的に整備をしている状況ではないのですね。

西出建設水道部長

各地域からの要望をいただき、優先順位をつけて整備はしています。住んでいる人の方がよくわかるかと思います。パトロールでは目が届かないので、情報があるところから対応するということです。

市民

緑町に子どもがたくさんいるが、若葉通りに横断歩道が一カ所もない。どこかに横断歩道があれば車も気を付けるかと思います。

西出建設水道部長

横断歩道の設置については、警察が中心になって検討することになります。現状としては、信号設置と合わせてということになりますが、地域や学校の要望があれば警察と協議になると思います。

市民

町内会長がごみステーションで困っていると思います。外国人に勝手に捨てられたり、分別しないという問題があります。例えば市で多言語化に対応した分別やカレンダー看板等を用意してもらったりすることは可能だろうか。QRコードで誘導する方法もあると思う。

まちで困っている外国人もいるが、言葉が通じないので助けてあげることができない。住んでいる人が必ずよるようなお店にQRコードを貼ってもらって、困ったときや情報に誘導する方法をとってはどうか。

北川市民生活部長

シーズンスティで来られている方が多くなってきています。その方々へ分別等について、どのように周知をしていくのが課題になってきています。現在、ホームページに6カ国語に対応した分別ガイドを掲載しています。ステーションへ多言語に対応したパネル等は用意していますので、ご相談下さい。また、QRコード対応についても検討したいと思います。

市民

40年ぐらいごみステーションの管理をしていますが、警告シールが貼られて残されているもの

はとても触れないものがあります。一定期間おいてあったものは持っていくなどのルールはありますか。

## 6. 閉会 ～小笠原企画振興課長～

北川市民生活部長

町内会組織で対応ができなくなったという相談もあります。担当職員が現地に行って確認して回収をすることはありますが、それを大々的に行ってしまうと対応しきれなくなってしまう。可能な限り地域でお願いしたいと思いますが、あまりにもひどいものは市に連絡をいただき一緒に対応策を考えさせていただきたいと思います。

稲葉副市長

他にご意見がないようなので、最後に市長より一言お願いします。

北市長

こちらから情報提供させていただいた部分を熱心にお聞きいただき、さらに意見交換でも貴重なご意見をいただいたと思います。中々行政だけでは気が付かない部分をご指摘いただいたと思います。すぐ対応できるものは早急に対応したいと思いますし、課題がある場合には解決にむけ検討する時間をいただきたいと思います。引き続き行政運営にご理解いただきたいと思います。今日言い足りないことがありましたら、次回以降の会場にお越しいただいて構いませんのでよろしくお願い致します。健幸ポイントについてお話させていただきましたが、健幸に対する意識はみなさんから高めていただく必要があるかと思います。行政としてはお手伝いさせていただき、利用しやすいよう改善していくことが大事かと思います。このあとよいよ冬を迎え、朝晩の気温が下がってきました。十分に健康管理にご注意いただき、明るく元気で健康に過ごしていただきますよう閉会のご挨拶にさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

## 令和6年度 未来をつくろう市民と市長の地域懇談会

日時 10月17日(木) 18:30~20:00

場所 ふれあいセンター軽運動室

参加者 17人(うち職員8人)

### 1. 開会 司会~小笠原企画振興課長~

### 2. 市長挨拶

夏の暑さが懐かしいようになってきました。夜分お寒い中ふれあいセンターにお集まりいただき、地域懇談会を開催できることを心から感謝お礼申し上げます。地域懇談会を行政側の都合で日程調整させていただきますので、一般的な行事と重なってしまうこともあるかと思えます。ご理解いただければと思います。もう雪虫も飛ぶ時期となり、農業もほぼ収穫を終えているかと思えますが最後の作物であるビートや大豆の収穫が始まっているかとお聞きしています。農業の関係について春先から天候に恵まれて順調に推移していましたが、夏が昨年同様に高温、干ばつ傾向にあり苦戦がありました。農業者に皆さんのご努力により変わりなく1年を過ごされたと伺っています。野菜の高騰があり、お米もコメ不足ということで値段が上がったと聞いています。平成5年のコメ不足を思わせるような値段になっているかと思えます。農業全体でみると野菜が高値で推移しているので、順調に収穫、販売につながっているようです。最終的な集計はこれからですが、いい結果が聞ける令和6年だったかなと思います。観光につきましては、前期につきましては、インバウンドを含めて順調に富良野にお越しいただいている状況です。昨年度の観光入れ込み数は189万人ぐらいでしたが、それを超える見込みになるのではと予測しています。農業、観光など経済的には富良野の環境に好影響が期待できると感じています。今まで富良野の経済の成り立ちは農業や観光で外貨を稼ぎ、その外貨を市内で消費するということから経済が成り立ってきたかと思えますので、この秋から冬にかけて期待するところです。一方で

宿泊施設や飲食が人手不足で100%稼働ができていないというのが現状かと思えます。人手はどの産業でも不足しているかと思えます。人口減ということも含めて人手不足が深刻な状態かと思えます。4月から人材確保対策ということで取り組みを進めていますが、少しずつ取り組みの成果も出ているかと思えます。労働力確保の部分で言えば海外の方に頼らざるを得ない部分もあります。農業を中心として、介護やホテル関係に海外の方々が活躍いただいている実態もあります。8月の人口で海外の方が昨年と比較すると160人ほど増えています。これも海外の方を雇用する中で、これだけ増えているかと思えます。

また、暑さ対策でエアコンの設置をすすめていますが、途中で不測の事態があり、長引いていますが、教育委員会で対応していただき、再開に向けた協議が進んでいきます。スケジュールは、冬休みに内装、春休みに外構を行い、6月1日に稼働を予定しています。地域の皆様にはご心配をおかけしたかと思えますが、目途が立ったところです。実現に向けて気を抜くことなく進めていきます。

今年の重点施策について4点説明をします。健幸都市、人材確保とDX、環境対策ということで取り組みを進め、2050年にゼロカーボンシティに向けた取り組み、まちの持っている良さを再発見、洗い直しする、まちの魅力を付けていく、その魅力から住んでいる人に誇りと自信を持ってもらう取り組みの一環としてのシティプロモーションの取り組み、健幸ポイントということで、歩く、研修会への参加などでポイントを付与し、そのポイントを利用して市内で買い物をしていただく取り組みの詳細について説明をさせていただきます。

また、意見交換では地域で課題になっているこ

とをお聞かせいただければと思います。いずれにしましても、行政だけではまちづくりにはなりません。皆さんと一緒に進めるために皆さんのご意見が必要だと思しますので忌憚のないご意見をよろしくお願いします。

### 出席者紹介

- ・ 稲葉副市長
- ・ 関澤総務部長
- ・ 西野 SC 戦略室長
- ・ 北川市民生活部長
- ・ 柿本保健福祉部長
- ・ 本田経済部長
- ・ 川上ぶどう果樹研究所長
- ・ 西出建設水道部長
- ・ 佐藤教育部長
- ・ 佐藤保健医療課長
- ・ 小笠原企画振興課長

### 3. 情報提供 進行～稲葉副市長～

#### 1) 市政執行方針重点施策の取り組みについて

##### ・ 4つの重点施策の概要と主な取り組みについて

～小笠原企画振興課長 資料について説明～

##### ・ 健幸ポイント事業について

～佐藤保健医療課長 資料について説明～

#### 2) 地域を支える外国人について

～小笠原企画振興課長 資料について説明～

市民

健幸ポイントに今日があったので今年はずっと思って参加しました。8,000歩は大変だと思いましたが、パークゴルフなどをすると半分ぐらいは歩きます。残りは歩く時間をとって歩いています。本来望ましいのは10,000歩とお聞きしましたが、相当大変だと思いました。なんとか高齢者としてできるだけ歩いて自分の健康を持続したいと思います。

市民

健幸ポイントについて、人数制限があつて参加したくてもできなかったと聞いたが、そのようなことはありますか。

佐藤保健医療課長

当初600人として募集しましたが、600人を超えても参加申込みは、お受けしていますので、今からでもご興味のある方はぜひご参加いただきたいと思います。

市民

見ていると、無理して歩いている人もいました。参加する人には考えてやってもらいたいですよね。高齢者の元気づくり事業で補助金が出ているが、グループの人数に決まりがありますか。

柿本保健福祉部長

制度の詳細について、この場ではっきりとお答えすることが出来かねますので、まずは高齢者福祉課にご相談いただき、活動の実態をお聞かせいただき、正確なことをお答えさせていただければと思います。

市民

今度行ったときに相談したいと思います。ただ、ちゃんとした人数を報告しているのか疑問しいところもあります。実際の活動している人数と違う場合に補助金がもらえるのはどうなっているのかと思います。

稲葉副市長

審査なども行っていますので、ご意見を参考にさせていただきたいと思います。

### 4. 地域との意見交換

市民

富良野新得間が廃線になりましたが、今後線路

はどうなるのか。JRとしてどのように考えているのか。

小笠原企画振興課長

JR廃線後の敷地については、JRの資産ということで利用方法は白紙です。ただ、駅舎については地元の市民を中心に利活用を検討しています。冬も雪下ろしなどの維持管理も予定しています。線路の鉄道敷地は事業化の目途はたっていませんが、ご迷惑をおかけするようなことになれば、我々からJRに申し入れも行います。

市民

いつ片付けるのかとかはまだはっきりしていないのか。

小笠原企画振興課長

踏切については、レールを取り外し舗装化の工事を進めていきますが、それ以外についてはそのままということです。

市民

踏切について、警察に停まる必要があるかというところと徐行してくださいと言われる。地元はわかっているのに徐行するが、観光客はわからないで停まってしまうので、事故を起こす可能性がある。

小笠原企画振興課長

順次、舗装化を行う予定ですので、もう少しお待ちいただければと思います。

市民

ふるさと納税について、現在の状況について、行政としてどれぐらい使い道があるのかを教えてください。

関澤総務部長

ふるさと納税については、令和5年度の寄付実

績は12万件弱、17億1,000万円ほどになっています。令和6年度も昨年度と変わらない水準でいただいている状況です。富良野市ではメロンをはじめとした農産物に寄附をいただいています。加えて、富良野に来ていただけるような返礼品も用意しています。宿泊クーポンや体験に使えるもの、市内での食事に使えるようなものも用意し、全国の方に注目してもらい、本市に関わってもらう方を増やす取り組みを進めています。使い道について、寄附をいただく時に、子育て教育の充実、農林業の振興、観光の振興、特に市長が認める事項というカテゴリーを用意して受付をしています。寄附のうち返礼品代、送料、業者への手数料などを除いて約半分が富良野市で使えるお金になります。寄附いただいたものは基金として積み立てをし、事業として活用しております。代表的なものでは、子ども医療費の無償化、こども家庭センターの整備、農業の担い手確保対策、スマート農業の推進、パウダースノーをアピールする事業などに利用させていただいています。全国からいただいた寄附については、市のホームページや広報で公表していますので、ご覧いただければと思います。

市民

富良野市では新しく文化会館ができ、色々な催しが行われ、低料金または無料で、都会でも聞くことができないようなものを聞くことができ、いいことだと思っています。文化的な面やスポーツの面などこれからも継続して多くの市民が参加できるように呼びかけや開催をしていただきたいと思います。

北川市民生活部長

今年は芸術文化団体とも連携してジャズコンサートや吹奏楽の演奏などを行っています。サンエーホールは音楽に特化した作りになっていますので、好評をいただいています。今後も利用率の向上に向けて取り組んでいきたいと思っています。音

楽に限らず、セミナーも開催しています。文化会館の会議室も利用した研修会など行政が行うイベントと合わせて、市民にも利用していただくよう勧めていきたいと思っています。ご要望等ございましたら連絡いただければと思います。

市民

文化会館が素晴らしい施設だと思います。赤い羽根募金でチャリティーカラオケ大会があった。あの素晴らしい文化会館で行うことができないだろうか。趣旨を理解していただければ無料で利用することもできるのではないだろうか。

稲葉副市長

以前、社会福祉協議会からも相談があり、色々な話をしている最中ですので、今回のお話も含めて協議をしたいと思っています。

市民

観光客が多く入ってきている。少し気になることで、芦別の方から金満パークゴルフ場に曲がって中富良野に抜けていく。観光バスやトラックが多く走っているので、いつか大きな事故になると思う。市道だと思うので標識などの対応を考えてもらいたい。

西出建設水道部長

交通量が多くなってきています。市道整備としては要望しながら、順次整備しているところです。また、大きい車の対応について、考えながら対応を検討したいと思っています。

市民

とりあえず、看板等を設置して注意喚起をしてもらいたい。

市民

道路脇に生えている木で見えない状況もあると

思います。河川敷地に生えているのは市では切れないといわれた。他にも草や木で見えないところがあるので開発に要望してもらいたいと思います。

西出建設水道部長

市道であれば、対応しています。それ以外の部分については市から要望して対応してもらいたいと思います。気になる箇所があれば連絡をいただき対応したいと思います。

市民

除雪について、朝早くから除排雪には頭が下がります。高齢者が多くなってきて、積もった雪を除雪することがままならない方が多くなってきている。町内としても排雪が来ない期間にどう対応するのかが話題になっています。地域で何ができるのかを考えていかなければいけないという現状をお話します。

西出建設水道部長

除雪は10cmで行いますが、排雪は年2回程度しか行っていないの難しい部分があります。市では直営で対応するよう職員もいますが、回り切れない部分もあります。地域でお話いただき、相談していただければと思います。

稲葉副市長

他にご意見がないようなので、最後に市長より一言お願いします。

北市長

こちらから情報提供させていただいた部分を熱心にお聞きいただき、関係するご意見をいただきました。また何かお気づきの点がございましたら、役所にお問い合わせいただけたらと思います。地域懇談会は他の地域でも行っています。場所を特定したものではありませんので、ほかの会場でも参加いただければと思います。まちづくりはみな

さんのご意見を聴き、一緒に進めていくのがこれからのまちづくりの方向性かと思います。できることできないことはありますが、気が付いたことは役所にもってきていただければと思います。今日も新たな気づきもありましたので、参考にさせていただき、すぐ対応できるものは早急に対応したいと思います。今年も残すところあと2月となりました。寒さも厳しくなってきます。健康に十分ご留意いただき、今年1年が良いものになりますよう締めくくれば幸いです。今日限られた時間でしたがご協力いただいたことに感謝申し上げます。本日は大変ありがとうございました。

**6. 閉会**     ～小笠原企画振興課長～

## 令和6年度 未来をつくろう市民と市長の地域懇談会

日時 10月21日(月) 18:30~20:00

場所 西地区コミュニティセンター

参加者 13人(うち職員7人)

### 1. 開会 司会~小笠原企画振興課長~

#### 2. 市長挨拶

朝晩めっきり寒くなってきました。お寒い中夜分お疲れのところ地域懇談会にお集まりいただきありがとうございます。今、国は衆議院が解散し、国のあり方、政治のあり方など論戦が展開されています。地方もコロナが明け、地域の経済や人の動きが活発になってきています。地方創生が始まり10年が経過しました。この間具体的な策を示すことができませんでした。いよいよそういったものを具体化し地方の力、経済を高めていかなければいけないと思います。

今日は重点施策についてそれぞれ説明させていただき、皆様のご意見を伺いながらより良いものにして考えています。国も地方も市民と一体となった共創のまちづくりがこれからのキーワードになってくるかと思います。行政がどこも同じようなことをするのではなく、その中に市民の意見を反映し、富良野ならではの施策をつくっていくことが、求められていると思います。有意義な時間を皆さんと作りたいと思いますのでご協力をお願いします。

最近の富良野市の人口動態では、8月末の人口は19,667人、そのうち外国人は560人、昨年同時期と比べると100人程度増えています。今年の4月から人材確保対策として取り組んでいる中で、新しく富良野にお越しいただき、仕事についていただく申し入れが11件14人います。今後30人程度が職に就いていただくために移住予定とのこと。都会から富良野に定住していただくことに国から施策もありますが、市からも加えて地域を拡大して取り組んでいます。家族6人が子ども4人を連れておいでいただくこととなりますし、

農業担い手センターで就農を希望している方も2組います。色々な意味で人口減少に歯止めは聞きませんが、2万人を切ったからは微減で推移していますので、施策が人口に反映されているのかと思います。当然、事業所や市民の方々の協力があって受け入れができています。今後も皆さんと前を向いて、将来に期待が持てる施策を展開していきたいと思います。今日の意見交換でも地域にある課題を忌憚のないご意見をいただき、次を見据えた地域づくりが可能になるよう意見をいただきますようよろしくお願いいたします。

#### 出席者紹介

- ・稲葉副市長
- ・近内教育長
- ・関澤総務部長
- ・西野 SC 戦略室長
- ・北川市民生活部長
- ・柿本保健福祉部長
- ・本田経済部長
- ・川上ぶどう果樹研究所長
- ・西出建設水道部長
- ・佐藤教育部長
- ・佐藤保健医療課長
- ・小笠原企画振興課長

### 3. 情報提供 進行~稲葉副市長~

#### 1) 市政執行方針重点施策の取り組みについて

- ・4つの重点施策の概要と主な取り組みについて  
~小笠原企画振興課長 資料について説明~

#### ・健幸ポイント事業について

- ~佐藤保健医療課長 資料について説明~

#### 2) 地域を支える外国人について

～小笠原企画振興課長 資料について説明～

通しについてもお互いに確認をして調整させていただくこととなります。

#### 4. 地域との意見交換

市民

西コミセンの現状について、これまでは葬儀などで利用があったが、コロナ以降は赤字になっています。地域への負担増も難しいところがあるので、市からはどのような援助をしてもらえるのか。物価高騰や光熱費も高騰しているので支払いも難しくなっている。将来的には維持できない話も出ている。

北川市民生活部長

コロナの関係で利用者が少なくなってきたという話を聞いています。利用料だけでは維持していくことが難しいという話を聞いています。指定管理料について採算があうように積算していますが、物価高騰、燃料高騰で見合わないことが起きています。指定管理更新時に利用実績から収支を検討させていただき、地元負担にならないよう積算したいと思います。燃料費高騰について、積算時より大幅に変わった場合は、追加で指定管理料をお支払いしています。

利用促進について少年団などの利用もありましたが、人数が減少し活動が縮小している実態もあります。これから活動をどうしていくのかはそれぞれの団体で検討しているところかと思えます。

市民

収入減になったときに市がどのようにしていただけののか。

北川市民生活部長

利用料が減る場合は、指定管理を更新する中で赤字補填を次の更新時になるかと思えます。今現在の赤字については、社会情勢の変化ということで相談いただきたいと思いますし、利用状況の見

市民

問題は、会員の負担がどれくらいになるのかということです。年間1,000円を超えるのかということ。市はどの辺を見通しているのか。

稲葉副市長

全体的な地域会館の金額に基準があったはずですが。見込みより下がったり、電気料金があがったりするので、その数値を勘案しながら年度末に清算しています。地域に過度な負担にならないようしたいと思います。

市民

水処理センター前の空き地に公園をつくるという話がありましたが、その後どうなりましたか。

西出建設水道部長

市の公園用地としてもっています。以前地域にも意向確認などを行っていますが進んでいないのが現状です。草の手入れなど管理をして行きたいと思えます。

市民

公園遊具が傷んでいる話をしましたら、「今はできない」と言われたが、翌年にきれいに整備された。今の公園についてもなるべく早く整備してほしいと思えます。

西出建設水道部長

公園の遊具については、長寿命化計画に基づいて点検を行いながら、順次更新をしています。水処理センター前については管理をしっかりしながら整備についても考えていきたいと思えます。

市民

昨年、高校の説明会に参加した際に、部活動の関係で富良野以外を選択している。他の地域から富良野に呼び込めるものがあるのかと聞いたら、少林寺について問い合わせが年間 20 件程度あると答えた。全国から来るらしいが、下宿先がなくして入学を断念している話を聞いた。人口減少が問題になっている中で、市でなんらかの対応ができないのかと。

北川市民生活部長

高校部活動が強くなると生徒が集まってきます。全道的に指導者中心に受け入れをしている現状があります。これを行政主導で行うのは難しいです。

近内教育長

10～20 年前に里親のようなホームスティという形で受け入れた過去もあります。食事と住居を含めて充実した学校生活ができるのかを高校の魅力化推進会議の中で考えていきたいと思います。

市民

学校で問合せを把握しているのになんとかしようとしていないのがもったいないと感じた。

市民

プロスキーヤーの方が全国から来た生徒を指導していて、生徒が地元の高校に通って優秀な成績を残していると聞いた。全国的に地方の高校に留学させるような取り組みもしているので、富良野もそのような活動をしてはいいのではと思う。エリアとして受け入れる方法もあると思います。

駅の東側と西側の繋がりが無いということが以前から課題となっています。駅にエスカレーターがないというのも問題になっています。駅の東側と西側をつなぐ道について検討はどうなっているのか。

他の会場で行われた地域懇談会の意見交換内容について知る機会はあるのか。

小笠原企画振興課長

JR の駅周辺敷地の活用については、廃止側の敷地については、貨物列車の引き込みで使うスペースとして、アンダーパスまで利用するという事です。エスカレーター等については、市として JR にバリアフリー化を要望しています。駅舎については具体化されていませんが、バリアフリー化の一環で要望していますが、今のところは明確化されていない状況ですので、利便性向上について引き続き要望していきたいと思います。

地域懇談会のやり取りについてはホームページと広報紙で公表しています。

稲葉副市長

地域懇談会のやり取りについては、過去も含めて公表していますのでお時間があるときにご覧いただければと思います。

稲葉副市長

他にご意見がないようなので、最後に市長より一言お願いします。

北市長

こちらから情報提供させていただいた部分を熱心にお聞きいただき、お礼申し上げます。健幸ポイントについて、商品券を配るだけではなく、データで生活環境や運動量などを分析して、健康寿命を延ばす、病気になりにくい身体を作るといったような情報収集にもなりますので、よろしく願います。スポーツの関係、高校の部活動の関係、駅舎の関係でご意見をいただきました。学校や JR と協議をしている部分もありますが、答えに行き届かない部分もありますし、黄色線区の課題もあります。ひとつひとつ踏まえて次に進まなければいけないと思いますので、この後の状況でもお気づきの点があれば、市役所に届けていただければと思います。どこの地域の会場に行っても構いません。

んし、市役所はいつでも皆さんの意見を聴く環境を整えていますので、ぜひこのあともご意見や行政運営にご協力いただき、共創のまちづくりに努めていければと思いますのでよろしくお願いいたします。今年もあと今年も残すところあと2月となりました。寒さも厳しくなってきましたが、健康に十分ご留意いただき、コロナも明けてよかったなど、今年1年が良いものになりますよう締めくくれますようご祈念させていただき閉めさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

**6. 閉会**   ～小笠原企画振興課長～

## 令和6年度 未来をつくろう市民と市長の地域懇談会

日時 10月22日(火) 18:30~20:30

場所 山部福祉センター

参加者 16人(うち職員4人)

### 1. 開会 司会~小笠原企画振興課長~

### 2. 市長挨拶

めっきり日が暮れるのが早くなり、いよいよ冬になると感じています。そのような夜分お疲れのところ山部地域の地域懇談会にお集まりいただきありがとうございます。今回は情報提供ということで、重点施策について説明させていただき、とりわけ健幸ポイント事業については、ベジウォーク in 山部も開催させていただき大変好評でした。そちらについても後ほど報告させていただきます。

重点施策について、行政だけが動いていい制度になるわけではありません。昔のようにどこの自治体も同じような施策を行う時代ではありません。地域に合い、要望に合わせた施策が必要だと思います。皆様のご意見を伺いながらより良いものに、充実したものにすることが大切だと考えています。忌憚のないご意見をいただければと思います。

山部地区の皆様には地域のイベントごとを積極的に展開していただき、住民の連帯感、地域の振興にご尽力をいただいていることに加えて、行政運営・推進にもご協力いただいていることにお礼申し上げます。人口減少・少子化の状況では地域における課題は様々あるかと思しますので、それらの課題につきましてもいただきたいと思います。また、山部地域には寿光園、博物館など公共施設の運営にも地域の皆さんに尽力いただいていることも重ねてお礼申し上げます。

今年の春からJR富良野新得間が廃線になり、山部駅・布部駅の駅舎を利活用や線路の課題などあります。地域から要望をあげていただき、それに応えられるよう行政としてJRと交渉をするようになるかと思えます。行政を返して北海道と協議することもあると思しますので、色々お聞かせい

ただければと思います。限られた時間ですがご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

### 出席者紹介

- ・稲葉副市長
- ・関澤総務部長
- ・西野 SC 戦略室長
- ・北川市民生活部長
- ・柿本保健福祉部長
- ・本田経済部長
- ・川上ぶどう果樹研究所長
- ・西出建設水道部長
- ・佐藤教育部長
- ・佐藤保健医療課長
- ・小笠原企画振興課長

### 3. 情報提供 進行~稲葉副市長~

#### 1) 市政執行方針重点施策の取り組みについて

- ・4つの重点施策の概要と主な取り組みについて  
~小笠原企画振興課長 資料について説明~

#### ・健幸ポイント事業について

~佐藤保健医療課長 資料について説明~

#### 2) 地域を支える外国人について

~小笠原企画振興課長 資料について説明~

市民

ベジウォークの取り組みについて、まちおこしネットワークに協力依頼がありましたが、内容と参加者の感想を教えてください。

本田経済部長

ベジウォークは経済部と保健福祉部で連携して開催しました。参加者は当日の欠席者もいました

ので 57 人になっています。参加者も 5 歳から 80 代の方まで幅広く参加いただきました。山部の農村景観、収穫作業の様子や作物がなっている様子を見ながら歩きました。途中のエイドでは農作物を召し上がっていただき、参加者は、かなり満足度が高かった様子でした。

市民

一部鉄道を歩いて、参加者からすごくよかったと伺っていますし、取り組みはすごくいいものと思いますし、今後も健康と農業を結びつけるようなことを企画していただければと思います。

外国人については、山部でも多く見かけます。今後も増えると思いますが、そうなると住居について市としてはどのように考えていくのか。合わせてごみ問題も出てくると思うのでその対策について聞かせてください。

本田経済部長

雇用者の方で住居を手配していただくことが基本かと思いますが、アパートも不足しているという状況もあります。かなりの人数を雇用しなければいけない状況については、外国人の生活サポートも必要になってきますので、まとまって入居できるような市の使っていない施設の活用ができないか、検討している状況です。

北川市民生活部長

外国人のごみ問題については多くあります。8 月末外国人の数は 564 人で、そのうち 90%が特定技能や技能実習生となっています。残り 10%は永住されていますので、地域活動にも参加するなど地域に溶け込んでいます。問題になっているのは二地域居住や短期居住、また民泊利用などになります。民泊施設については必要に応じ管理者に対してごみ分別の指導を行っています。ごみ分別については市ホームページに多言語化で紹介しています。また、町内会要望に応じて、資源回収ス

テーションに英語や中国語で注意喚起の看板を貼りだしているところもあります。環境課に連絡いただければ資材の提供などもできます。また、他の地域懇談会でも意見いただいた QR コードの利用など提案いただきましたので、現在検討を進めているところです。

市民

外国人の説明について、「就労者」と説明を受けていましたが、90%が技能実習生とお聞きしたので、そのあたりの区別をして説明いただければと思います。

健幸ポイントについて、令和 6 年度の参加者数が 618 人と話がありました。富良野市内 18 歳以上の人口に対するとどれぐらいの割合になるのか。

佐藤保健医療課長

高校生を除く 18 歳以上が対象になり、参加者の割合は 3%程度となっています。

市民

市内に住む外国人と同じ割合ですね。

#### 4. 地域との意見交換

市民

鉄道について、このまま放置されてしまうと問題になってしまうと思う。その土地にペロブスカイトを設置して発電してはどうか。同時に蓄電も費用がかかるので水素などを利用することも検討してはどうか。国内であまり関心が高くないので、先進地として取り組みをしてはどうか。

富良野高校跡地は市で何か考えているのか。何もなければ研究施設にしてもいいのではないか。

河川について、河川敷地の木によって水害になってしまうのではないかと心配。何力所か気になる場所があるので対応して欲しい。

10 月のスポーツの日に市民運動会のようなこ

とを企画してはどうか。

健康について、山部に 75 歳以上は多くいるが認知症も多くなってきている。認知症に対する対策も考えてはどうか。

北川市民生活部長

ペロブスカイトについては、注目されています。国内でも試験的に公共施設に設置するようなことも伺っています。蓄電についても研究が進んでいるものもありますので、情報収集をしていきたいと思えます。

スポーツの日について、各競技団体でそれぞれ活動をしています。昔のような地域対抗の運動会は難しいかと思いますが、ご意見として検討材料として伺いたいと思えます。

西出建設水道部長

河川について、山部の川について市が管理している部分と北海道が管理している部分がありますので、場所を確認しながら北海道に要望していきたいと思えます。市の部分については現場確認し、対応できるところから行っていきたいと思えます。既に北海道に要望しているところもありますのでご理解いただければと思えます。

佐藤教育部長

高校の跡地利用について、今の状況は北海道による利活用の予定がないので、市としてどのように利用するのかを検討しているところです。

柿本保健福祉部長

高齢者について、全国的に高齢化に伴い認知症の方が増えてきています。国も認知症対策について基本法を制定し、計画を立て進めてきています。市としては、認知症の予防とともに、認知症の方と一緒に暮らしていくために、認知症に対する理解を深め、一緒に地域をつくっていくことが重要と考えています。認知症サポーターというボラン

ティア養成講座や、認知症に関する周知や研修会などを行っています。

各地域の認知症の方々が尊厳を保ちつつ希望を持って暮らすことができるようこれからも施策を進めていきたいと考えています。

市民

JR が廃線になり、南富良野町営のバスを利用することができないのはなぜか。

小笠原企画振興課長

JR 廃線に伴う交通体系は 3 系統に分かれています。ひとつは富良野と新得を結ぶ都市間バス、それから富良野と幾寅を結ぶ富良野バスの西達布線を延長した路線バス、もう一つは南富良野町行の地域内交通で、それぞれが役割を持って運行しており、富良野市民が乗れる交通体系と南富良野町民が使う交通体系があります。利用者がどちらかの交通体系に偏らないよう棲み分けし、より長い期間交通体系を維持できるようにしている関係上、現時点ではどれでも乗れるようにはなっていません。今後、地域公共交通会議など必要な協議が整えば乗車可能になる可能性もありますが、現時点では役割分担をもって運行しています。

市民

なぜ、前段でそのような協議をしていたのにも関わらず、このような状況になったのか。実際に利用できると思っていた住民もいて混乱が生じたケースもあった。広域として考えてどのバスにも自由に乗れるようにしてほしい。

小笠原企画振興課長

ご意見として受け止めさせていただきますが、利用者が偏ってしまうと、それぞれの交通体系が維持できなくなってしまうことも考えられますので、需要も踏まえて考えていく課題だと思えます。南富良野町営バスの一部は金山・下金山の住民の

ご利用を前提として運行していますが、西達布線の利用者がそちらを利用してしまうと西達布線の維持にも影響を及ぼす可能性があります。これから利用実績を踏まえながらどのような形が望ましいかを沿線自治体と協議をして考えたいと思います。

市民

バスの運転手の問題で保育所のへき地交流ができないという話がありました。課題は解決しましたが、今後もへき地交流や遠足などを安定的に継続して行くためには運転手の確保が必要だと思います。現場が悩まないようにしてほしい。

JR 廃線によってバスの運行が増えたとなっているが、夜に富良野市内に飲食をしに行く際に行く手段はあるが、帰る手段がない。山部地域に住む現役世代としては、住みにくさも感じるので何かしら対策を考えてほしい。

関澤総務部長

市で所有しているバスについては、ふらのバスに運行を委託して行っています。保育所だけではなく学校行事についてもお願いしています。今年の7～8月にかけては観光バスの増加によって、市からの運転業務を受けることができないという話がありました。中体連のバス運行についてほかのところから運転手を確保するなど苦労したところです。運転手の確保についてはふらのバスでも対応いただき、人数も増えてきています。また、資格取得については、人材確保の補助を今年から行っています。今年の夏のように運転手が確保できないということにならないよう、早めの日程調整を行うなど最大限努力したいと思います。

市民

人材確保は難しいと思う。人口減や観光バスなどで難しくなる。急に保育所行事ができないとはならないと思うので、職員の資格取得などを取り

組んでもらえたらと思う。

稲葉副市長

職員が運転を行って対応をしたことがありますし、早めに日程調整をすることでふらのバスでも運転手の調整ができることもありますので努力したいと思います。

市民

小児科が協会病院しかなく、待ち時間が長く子どもも保護者も疲弊している。長年医者の確保については課題となっているが解決の糸口が見えていないように感じる。市民にはその辺の見通しが見えていない。

病院などに車いす用駐車場はあるが、ベビーカーを広げたりするので、子どもがいる家族向けにちょっと広めの駐車場があればいいと感じる。複合庁舎にもちょっと広めの駐車スペースや屋根など、子育て世帯に優しい施設があるといいと思いました。

柿本保健福祉部長

現在、小児専門科として診療ができるのは協会病院だけです。協会病院は地域センター病院としての責任から小児科のみすべての平日の午前、午後外来診療を実施し、医師を増やして対応していただいています。この診療体制を取っていただいていることは、他の地域と比較しても努力いただいているところだと思います。小児科だけではなく、医師確保は難しい状況があります。中富良野町や協会病院などと地域医療連携推進法人を立ち上げたことにより、旭川医大にも働きかけができ、協会病院の医師が増えている状況があります。皆さんにこれ以上ご不便をかけないように、引き続き医師の確保を進めていきたいと思います。

駐車場について、複合庁舎南側に「思いやり駐車場」があります。障がいをもった方やお年寄り、小さいお子さんがいる世帯も利用することができ

ます。

市民

コロナワクチンの案内が届いたが、巷では副反応に対する噂が出ている。それらに対するチラシの配布とかしてもらえないか。

柿本保健福祉部長

5類になって10月から無料接種ではなくなりましたが、高齢者等の方は定期接種として国と市の補助で接種することができます。コロナだけではなくウイスルのワクチンの副反応に関するデマはありますが、市としてそれらに反応した案内をすることが、かえって皆様の不安を煽り、デマを抑制することにならない場合もあります。コロナワクチンの有効性、安全性について、厚生労働省としての見解などもありますので、それらも含めて市として考えたいと思います。

市民

山部にもシェアハウスと呼ばれるような民泊があります。そこから出されたであろうごみが分別されていないなどの問題が1度あった。たまにある。

また、夜遅くに花火をすることも1度あった。今は大きな問題になっていないが、今後どのような対応になっていくのか。

北川市民生活部長

市内に民泊業として登録されているのは約50件あり、管理者を把握することができます。民泊施設から排出されたことが特定できれば、管理者に対して市から注意喚起することができます。あまりにもひどい場合は支所や環境課に連絡いただければと思います。

夜間の花火などについては防犯面などから警察に連絡する方法が一番いいかと思います。

空き地の管理については「富良野市まちをきれ

いにする条例」に基づき、土地所有者に市から注意喚起することができますのでご一報ください。空き家については、都市建築課になりますますがまずは支所にお問い合わせいただき、担当に振り分けさせていただきたいと思います。

市民

倒壊した住宅の後始末について、以前市に相談をして、所有者に連絡をしているとのことだが、まだ対応していただけていない。環境衛生上、近隣にも迷惑がかかっている所以对策してほしい。

地域おこし協力隊について、今いる隊員は最初富良野市内に住んで、山部地域に住居が見つかったので引っ越した。地域の住居を確保しなければ地域との交流等が難しい。今後も地域おこし協力隊をもっと活用して地域振興をすすめてほしい。

西出建設水道部長

空き家について、都市建築課が担当になります。空き家といえども個人資産になるので、安易に手を出すことができません。文書や電話などで所有者に状況説明や対応をお願いしている状況です。

北川市民生活部長

地域おこし協力隊については、市が直接雇用する方法と、人材派遣会社が派遣してくる方法があり、山部に配置している地域おこし協力隊は人材派遣会社が住宅を準備する契約になっています。その中で当初選択されたのが富良野市内の住宅でした。あくまで契約内容で今回は事業者が住宅を確保する内容になっているということをご理解ください。

関澤総務部長

地域おこし協力隊全般について、現在9人が来ていただいています。山部地域では地域振興で1人、ブルーリッジで2人、シティプロモーションで3人、ICT支援員として2人、まいくらすに1

人に活躍していただいています。地域おこし協力隊は国からの交付税措置があり、都会から地方の働く場を提供し、将来的に移住につながるような仕組みになっています。富良野市としては職員では至らない部分や専門的な知識が必要なものにお越しいただいています。課題に応じて地域おこし協力隊を募集していますので、活用できるものは活用しながら、制度の趣旨である任期終了後に移住定住していただける体制をどう整備するのかが課題となっています。

市民

空き家の対応をしていただいているのはわかっています。この話はずいぶん前から話をしてのことですが、解決方法が見つからない。なんらかの対応をしてほしいということです。

職員の住宅確保をしてほしいということです。

西出建設水道部長

地域の皆さんにとっては切実な課題だと思っています。現状では先ほどお伝えした状況です。市外に直接会いに行くなどの対応をしたケースもありますので、なるべく早く課題解決できるようにしたいと考えています。

関澤総務部長

地域おこし協力隊の住宅について、現在は使用していない教員住宅を活用しています。市として活用する予定のない住宅や土地については売却を進めているところです。市内においても使っていない教員住宅も増えてきていますので、住居が足りなくなるということはないかと思っています。

活動しやすい場所に住宅を確保できるようにしたいと考えています。

市民

教員住宅の環境はあまりよくないので対応もしてほしいという要望です。

稲葉副市長

お時間になりましたので閉じさせていただきたいと思います。最後に市長より一言お願いします。

北市長

長時間にわたり、こちらから情報提供させていただいた部分を熱心にお聞きいただき、事業の内容にご理解いただけたかなと思います。健幸ポイントについても、興味のあるというお話もありましたので、後ほど担当者にお聞きいただければと思います。

幅広くご意見をいただいたと思います。国の選挙では地方創生について話されていますが、地方創生が始まったのは10年ほど前からになります。10年経って何ができているのかという大変疑問に思うところもあります。使いにくい制度だったのかと思います。選挙後に地方創生や予算、事業などにも注意を払いながら期待したいと思います。人口が減るなかでどのようにまちを元気に、経済を発展させ、住んでいる人に満足してもらうのが地方創生になると思います。幅広い世代についてご意見をいただきました。健康に気を付けていただき、高齢者の意欲に応え、存在意義を感じられる場所が必要だと思っています。子どもが減少しているのは子育てのしづらさもあるのかと思います。行政も施策を行っていますが、若い世代も方々も仕事をする中で家庭を守る、仕事に対する自信、家庭を守っている誇りを感じられる社会をつくることで、元気づけられるのかとも思います。

今日色々なご意見をいただきましたので、実現できるところから準備をすすめ、検討が必要なものは進めていきたいと思っています。この後もお気づきの点があれば、市役所に届けていただければと思います。今年もあと今年も残すところあと2月となりました。今年1年が良いものになりますよう締めくくれますようご祈念させていただき閉めさせていただきますと思います。本日は大変あり

ありがとうございました。

**6. 閉会** ～小笠原企画振興課長～

## 令和6年度 未来をつくろう市民と市長の地域懇談会

日時 10月28日(月) 18:30~20:30

場所 東山支所

参加者 22人(うち職員1人)

### 1. 開会 司会~小笠原企画振興課長~

### 2. 市長挨拶

今日は東山地域の皆さんと地域懇談会を開催させていただきました。日も短くなり、冬の訪れも間近かなと思う時期になりました。そのようななか大勢の皆さんにご参加いただきありがとうございます。また当地区の皆さんにおかれましては、地域コミュニティーカーの運行や農業担い手センターの研修生受け入れ、埼玉農業大学生の長期受入など行政運営や独自でふるさと祭りやフォトコンテストなど地域振興、地域友和にご尽力いただいていることに感謝と敬意を申し上げます。

今年の農業を振り返ると春から天候には恵まれたと思います。夏は暑い時期もありましたが、昨年のような大きな障害をうけるということがなく、順調に生育が進んだのかと思いますし、収穫についても豊作までいなくても例年より収穫量が増え、価格に支えられ販売も順調に進められているとお聞きしています。暮れには喜びの多い1年を締めくくれるのかと期待しています。

観光について、ムードとしてはインバウンドが増えているということで昨年より増えているように感じていましたが、観光入れ込み数については昨年より減少、宿泊単価や物価高騰もあり、売り上げ等は上昇傾向にあると伺っています。農業と観光の2大産業が順調だと理解していますし、そのことが富良野の経済に好影響を与えると期待しています。忌憚のないご意見をいただければと思います。

今年度の重点施策4点について説明させていただき、それらについてご意見をいただきたいと思っています。総合計画の中で共創ということで市民の皆さんと共にまちづくりを進め、運営していく思

想で総合計画を立てさせていただいています。行政が動いてまちづくりがうまくいく、行政運営、市民生活が満足のいくようなものになるというのは難しい状況になっています。総合計画、重点施策として進めさせていただいていますが、皆さんのご意見をいただきながらより良いものに作り上げていければと思います。今日の地域懇談会で忌憚のないご意見をいただければと思います。

意見交換では、地域の課題、地域から望まれることをお聞かせいただければと思います。

今年の農業は順調だったと思いますが、農業や観光がこのまま順調に推移することは考えにくいと思います。それぞれの新しい取り組みが必要になってくると思います。農作物においても既存の作物だけではなく、新しい作物や資源に変えていける作物が作れないか、本来は東山地域で取り組みにくい作物も今の技術力で可能ではないかと思います。例えば、陸で海のことを養殖するようなことを試験していると聞いています。地域振興ということで皆様のアイデアを下支えする行政でありたいと思いますので色々な発想をお聞かせいただければと思います。

### 出席者紹介

- ・稲葉副市長
- ・近内教育長
- ・関澤総務部長
- ・西野 SC 戦略室長
- ・北川市民生活部長
- ・柿本保健福祉部長
- ・本田経済部長
- ・川上ぶどう果樹研究所長
- ・西出建設水道部長

- ・佐藤教育部長
- ・佐藤保健医療課長
- ・小笠原企画振興課長

### 3. 情報提供 進行～稲葉副市長～

#### 1) 市政執行方針重点施策の取り組みについて

- ・4つの重点施策の概要と主な取り組みについて  
～小笠原企画振興課長 資料について説明～
- ・健幸ポイント事業について  
～佐藤保健医療課長 資料について説明～

#### 2) 地域を支える外国人について

～小笠原企画振興課長 資料について説明～

市民

ゼロカーボンについて、薪ストーブ・太陽光発電に対する補助は1年間で予算の上限はどれぐらいか。

薪ストーブの薪供給について富良野市ではどのような対応をしているのか。

北川市民生活部長

令和5年度の実績では太陽光発電が15件、ペレットストーブが3件、薪ストーブが4件の予算内で補助をさせていただきました。今年度は現在のところ申請で太陽光発電が4件、ペレットストーブが0件、薪ストーブが5件となっています。相談を受けているものも他にありますが、昨年より若干少ない状況です。予算については余裕があります。

薪ストーブの薪の確保について、市内で専門に扱っている業者は聞いていませんが、個人でダムの流木無料配布で調達している話を伺っています。また、沿線で薪販売事業者を利用している話も伺っています。今後も薪ストーブ推奨していくことになれば、薪の調達についても研究したいと考えています。

市民

以前、外国人技能実習生で年間仕事がない農業の場合に他の仕事に就くことなどをした場合は、違法だと言われた。最近はどのようになったのかわかれば教えてほしい。

北川市民生活部長

外国人は人口の2.9%程度住んでいますが、そのうち90%は技能就労や特定技能実習として長期間滞在している方になります。そのほかにもインターンシップとして短期滞在している方もいます。今お話いただいたとおり、技能実習などで来ている方が転職をすることは禁止されており、3～5年は同じ業種で働くことになっています。ただ、これが色々なところで問題になっていて、育成就労制度という一定の条件を満たせば転職が可能になる制度について検討されています。

市民

これから農業は人が不足していくので、よい制度を考えてほしいなと思う。言葉についてはだいたいジェスチャーなど通じて行えばなんとかなるので、受け入れやすいようにしてほしいと思う。

稲葉副市長

国の政策の部分もありますが、今回紹介した動画以外に農業の部分もありますのでご覧いただければと思います。

市民

シティプロモーションについて、移住定住の取り組みでこの地域はミニトマトの新規就農が7件ほどきてありがたいと思っています。保育所について学校の敷地内に建設されますが、2歳未満のお子さんは受け入れができないということで、南富良野や市内に通って、送迎で往復2時間かかっている。今後も新規就農は増えてくると負担になると思うので検討していただければと思う。

北市長

学校のそばに新設される保育所は、2歳未満のお子さんを受け入れる体制になっていません。これを広げるとなれば、保育士の人員や施設設備などがでできますので、今のところ0歳児からの受け入れは考えていませんが、研修生や新規就農が増え、子どもも増えてくるような要素があれば、利用できるような体制も検討しなければいけないと思います。現人数ではそこまで至らないかと思っています。

南富良野町の保育所を利用しているということですが、行政の連携や距離的な利便性も市内より近いかと思います。

市民

ニーズがあれば今後も検討していくということなので、考えていただければ富良野の強みにもなると思う。

市民

外国からきて働く方が増えているということですが、外国人が困ったときに相談する窓口はありますか。

北川市民生活部長

永住されている方は地域の方がサポートを受けているという話は聞いていますが、市の窓口として外国人に限った相談窓口はありません。ただ、窓口には英語を話せる職員もいますし、翻訳機などを使いながら対応しています。ごみの分別等についても多言語に対応した説明書の配布を行っています。

市民

長く住んでもらうためには、問題点があったときに市役所のどこに相談したらいいよという場所があれば安心して暮らせると思いますがどうでしょうか。

北川市民生活部長

外国人に特化した窓口はありませんが、市民相談窓口があり、実際に電話やメールで外国の方からも相談を受けて対応している現状です。

稲葉副市長

他の自治体ではそのような窓口を設置しているところもありますので、参考にさせていただきながら検討させていただければと思います。

#### 4. 地域との意見交換

市民

地域の広報配布をしなければいけなくなり、配布するのに1時間程度かかりますし、車でも10数キロ走ることになります。個別に郵送にならないのか。また、個人の車なので費用弁償などは支給されないのか。加えて、冬は危険な場面も多くトラブルに対して市はどのように考えているのか。他の人に配布をお願いした場合にトラブルが起きた場合は私が責任を取らなければいけないのか。

小笠原企画振興課長

広報の配達については、地域の皆様に多大なるご支援をいただき支えていただいている状況です。これらを郵送で行うとなれば莫大な費用が掛かることが懸念されます。その様な中、地域の皆様には大変なご苦勞をいただきながら、毎月配布いただいていることに感謝申し上げたいと思います。配布が難しい場合は個別に相談を受ける場合もありますが、できれば引き続きご協力をお願いしたいと思います。なお配布にあたりトラブルが発生しましたら、私たちにご連絡をいただき対応させていただきますのでよろしくお願い致します。

市民

すぐに配れる範囲ならいいが、私の受け持った範囲は広い。自分のガソリン代を負担してやる必要があるのか。市としていいのか。

小笠原企画振興課長

大変恐縮でございますが、市が発行する広報については、皆様のご支援をいただき配布させていただいています。今後配布の在り方、電子媒体の活用などを提案いただいた経過もありますので、課題として認識し、これから研究していきたいと思えます。

市民

よろしく願います。

要望事項取りまとめの書類が秋ごろ来たが、班の意見を取りまとめたが、地域で意見を受けてもらえなかった。

稲葉副市長

それについては、地域で取りまとめているものだと思います。地域の考え方で優先順位をつけられたのかと思います。まとめられたものが私たちの方に要望としてきます。要望以外でもお話は聞くことはできますので、皆様の声を承りたいと思えます。

北市長

広報紙や要望の取りまとめを行うことは、それらを通じて地域のコミュニケーションにつながるのかと思います。全体で地域の課題を共有するというのが重要だと思います。地域課題を共有する意味でも話し合いを続けてもらえたらと思えます。

市民

ごみステーションについて、通りすがりと思われる方の投棄が目立つ。以前は看板等も設置して落ちていたりもした。今年、ビンの回収に立ち会

うことがあり、業者に呼び止められ、ビン以外のものが多く入っているのでこのままだと回収できないと言われた。ビンポストは入れられたら何が入っているか外からは見えないので、何かいい方法があれば教えてほしい。

北川市民生活部長

街中ではお祭り時期には封鎖したりしています。ただ、通常時はそういうことはできません。中々解決策が見いだせないのが現状かと思えます。不審な方がいればパトロール強化などできることもありますので、ご連絡いただければと思えます。

市民

家の前の道路が道道とつながっているので車通りが多い、大型車も多く道路がデコボコ。観光シーズンは家から出られないくらい交通量が多い。連協からも要望しているが一時停止標識の設置も出した。警察だと思うが、市からも要望してもらえないだろうか。

道路の穴も直してもらったが、また空いた。大型車も多いので路肩も崩れている。

西出建設水道部長

舗装については、要望をいただいているので優先順位をつけて対応したいと思います。道路の穴について連絡をいただければ現地確認して対応したいと思います。車通りが多く痛みが多いということについては、道路改良などを行うのがいいかと思えますがそうなると思うにはできませんので、計画的な市道整備を行いたいと思えます。

一時停止の標識は警察の担当になりますが、市や地域からの要望をしていきたいと思えます。

市民

警察には伝えたが、道路が狭く車線が入っていないので付けられないだろうと言われた。市で車線を入れるなどの対応はできるだろうか。

西出建設水道部長

一時停止の要望もしながら、条件があるのであれば確認して、検討したいと思います。

市民

道路について、近年レンタカーや大型車の交通量が多くなっている。地域として期成会を作って道道への昇格を北海道に要望しています。市からも強いバックアップをお願いしたい。

西出建設水道部長

市からも合わせて要望しています。地域とも歩調を合わせて要望していきたいと思います。

市民

観光客が増えて交通量が増えている。舗装が傷んだりしているところも多いので確認して対応をお願いしたい。

合わせて国道の改良も検討して要望してもらいたい。

市民

市道で東山地域は砂利道が多い。舗装にしてもらうのが一番だが、砂利入れを要望している。また、道路によっては、石灰が多いのでほこりが畑にかかり、作物ができない箇所もある。

西出建設水道部長

地域要望も勘案しながら優先順位をつけて舗装化したいと思います。砂利についてもできる限り現地確認して対応したいと思いますので、連絡いただければ確認して整備したいと思います。

市民

今、東山で舗装の要望をしているが、条件として2戸以上ということを知っている。だんだん戸数が減ってきているので条件にあうところが減っ

てくる。人は住んでいないが、利用が多い道路も多い。条件の緩和などの考えはあるのか。

西出建設水道部長

基本的な条件は2戸以上で住んでいる方というのがありますが、農作物を運ぶなど利用が多いなどの状況を加味して要望いただければ検討できると思います。

市民

東山はまだまだ砂利道が多いので舗装を進めていただきたいと思います。

市民

砂利をひくと角が尖っているなどでタイヤがパンクしそうになる。対応していただければと思う。

市道の除雪は早いですが、道道の除雪が遅い。降雪が多いと道道を迂回しなければいけない。市と道で連携して対応することはできないのか。

西出建設水道部長

砂利の対応については、どの程度対応できるかわかりませんが、現場と検討したいと思います。

道道の除雪については、そのようなご意見を北海道に連絡して、同じ時間にできないか要望したいと思います。

市民

消防団について、訓練などが負担になっている。行事の簡略化などはできないのか。

稲葉副市長

広域連合として関わっていますが、直接命令権はありません。このような話があったことを伝えることができますが、訓練を負担だから簡略化することができるのか私たちは判断できません。訓練や行事の在り方については消防署や消防団で話し合ってもらうのが一番だと思います。

市民

総合計画がある中で、東山地域はどんどん人口が減っている。学校もどうなるのかと思う。東山地域はどうなれば集落として成り立つのか。どのように考えているのか。

北川市民生活部長

地域コミュニティの観点でお話させていただきますが、町内会活動も停滞している中でどうしたら活性化していけるのかということがあります。コロナの影響が大きく、今までの活動ができなくなったことがあります。イベントなども再開し、東山もふるさと祭りで地域以外の方も含めて400人が来場して盛り上がるなど、地域の魅力を発信していくことが大切だと思います。

関澤総務部長

総合計画は今年で4年目を迎えます。総合計画では地域ごとの計画はなく、全体の計画になっています。また、地域活性化の特効薬はないと思います。東山だけではなく、富良野全体で人口が減っている状況があります。総合計画の中で目指しているのは、20～40代をどのように来てもらうかをすすめてきています。新規就農も総合計画の1つでもありますし、今年重点施策の人材確保対策として様々な事業を行っています。外からどのように来ていただくのかを、事業所に助成しながら進めている中で新たに移住していただける方も確認しています。それらを市内全体に広められるようにしていかなければいけないと考えています。地域のコミュニティをどのように守っていくのも大きな課題になってきます。先ほどの広報の関係も地域の中でお互いに助け合ってどうやっていくのかという中の1つとして広報もお願いしています。市民の皆さんと共創を掲げて少しずつですが進めているところです。

北市長

具体的に形にする方法をお答えさせていただきましたが、何が必要かということでいきますと、東山の農業も後継者が減少し、農業に携わる人が減っているのが現状です。人口も減少するなかで遅らせたり、現状を維持したり取り組みを進めさせていただいています。

農業担い手センターの研修に参加する方は東山地域を指定している方もいます。なぜかということ実際に東山で就農している方をみて、一緒にミニトマトを作りたいという意気込みになっています。学ぶ環境がこの地域にあるということが、地域の役割なんだと思います。意気込みというものがこれからの時代を進めていくのに必要だと思っていますので、そういう想いを東山の農業に絶やすことなくしていただきたいと思います。

市民

東山地域に新規就農で入ってきています。彼らの話を聞くと、私たちと違う農業をしていると感じます。ずっと続けてほしいと思います。彼らのやっていくことを行政として支援してほしいと思います。

健幸ポイントについて、農家の人は参加者が少ないと思います。農家の人も興味を持ってもらいたいと思います。

柿本保健福祉部長

健幸ポイント事業の参加者は、年々増えてきています。現在の参加者は、人口の約3%ですが、これが5～10%になると市民全体の健康状態が改善していくという科学的データであると伺っています。より多くの農家の方々に参加していただくことは、今後の課題だと思っています。

稲葉副市長

お時間になりましたので閉じさせていただきます。最後に市長より一言お願いします。

北市長

長時間にわたり、地域懇談会にご協力いただき心から感謝申し上げます。情報提供にも熱心にお聞きいただいたことにも感謝申し上げます。地域の要望事項、地域課題についてご意見いただきました。現状を確認してすぐに対応できるものは行っていきたくと思いますので、絶えず情報交換をしていければと思います。また、課題として提案いただいたことも参考にさせていただきながら、まちづくりに生かしていきたいと思います。

選挙の中で地方創生が叫ばれていました。地方創生も10年計画でありましたが、地方が地方創生にかかわって進めなければいけないことは多岐にわたります。

その一つでは高齢者がいくつになっても活躍する場、居場所、まわりとのコミュニケーションが盛んにおこなわれ、生きがいを持って過ごされる環境をつくることもあります。若い方が生活をしながら仕事し、仕事に誇りを持って過ごせる、仕事をする中で家庭を守る、仕事に対する自信、そういったものが地域に住んでいたい。住み続けたいという思いにつながると思います。行政も思いを実現できるようサポートしたいと思います。この後もお気づきの点があれば、市役所に届けていただければと思います。今年もあと今年も残すところあと2月となりました。寒さは厳しくなっていますが、今年1年が良いものになりますよう締めくくれますようご祈念させていただき閉めさせていただきたいと思います。本日は大変ありがとうございました。

**6. 閉会**     ～小笠原企画振興課長～

# 令和6年度 未来をつくろう市民と市長の地域懇談会

日時 10月30日(月) 18:30~20:30

場所 麓郷集落センター

参加者 26人(うち職員3人)

## 1. 開会 司会~小笠原企画振興課長~

## 2. 市長挨拶

今日は東部地区の地域懇談会にお集まりいただき心からお礼申し上げます。朝晩寒くなってきましたし、この地域は農作業が中心となっていますが、農作業自体は順調に進んだかと思えます。今の時期は次年度に向けた準備で忙しい中、お疲れのところお集まりいただいたことに重ねてお礼申し上げます。また、地域の皆さんには日頃から行政運営、行政にかかわるご意見を寄せていただいていることにお礼申し上げます。

今日の地域懇談会では重点施策、人口の推移でも外国人が増えています。雇用不足して担い手ということもありますが、定住している方も増えてきています。外国人抜きで今の地域の経済を語ることはできないと思っています。全てにおいて、行政が動いていればなんとかなるということではなく、まちづくりには市民の皆さんのご意見をいただき、ご意見を生かした中で行政と市民がお互いに連携してまちづくりをすすめていくことが持続可能な地域をつくる、住んでいてよかったと思う地域を育ていけるのではないかと思います。今日の地域懇談会では忌憚のないご意見をいただければと思います。

また、日頃から地域で抱えている課題についても皆さんの考えをお聞かせいただければと思います。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

## 出席者紹介

- ・稲葉副市長
- ・近内教育長
- ・関澤総務部長
- ・西野 SC 戦略室長

- ・北川市民生活部長
- ・柿本保健福祉部長
- ・本田経済部長
- ・澤田ぶどう果樹研究所業務課長
- ・西出建設水道部長
- ・佐藤教育部長
- ・佐藤保健医療課長
- ・小笠原企画振興課長

## 3. 情報提供 進行~稲葉副市長~

### 1) 市政執行方針重点施策の取り組みについて

- ・4つの重点施策の概要と主な取り組みについて  
~小笠原企画振興課長 資料について説明~

### ・健幸ポイント事業について

- ~佐藤保健医療課長 資料について説明~

### 2) 地域を支える外国人について

- ~小笠原企画振興課長 資料について説明~

市民

私のうちはペレットストーブを利用しているが、ペレットを買えるお店が1件しかない。通常の営業の店ではないので買いにくいので、市で改善することはできないか。

北川市民生活部長

ペレットを生産しているのが市内で1件しかありません。生産量が間に合わないので生産工場を市内で探しているという話を伺っています。ペレットストーブの需要に合わせて、燃料供給体制の確保も必要になってきますので、関係する事業所にも声をかけさせていただき、購入しやすい体制を検討していきたいと思っています。

#### 4. 地域との意見交換

市民

防犯灯と街路灯について、市道に設置している防犯灯の設置費や維持費をなぜ地域が負担しなければいけないのか。街路灯の設置基準について教えてほしい。学校周辺の明るさは街路灯だけで補えているのか。

地域懇談会に参加するのに、なぜ個人情報を記載しなければいけないのか。

西出建設水道部長

市道に設置している防犯灯については、地域で設置をしているものなので、地域で負担をしていただいているものになり、街路灯については市が設置し維持費も負担しているものになります。

街路灯の基準について、交差点などに一定の基準を満たすよう設置しています。また、通行などで支障がある場合は設置する場合がありますが、基本的には交差点になります。

学校周辺の明かりについて、道路に設置しているものは交差点などが基準になりますので、学校周辺の照明という点では設置していません。

市民

かなり暗い部分があるので、地域で防犯灯を設置しているというのが現状です。市道を市民が歩くのに暗いから設置をしている。要求をしたら市が街路灯を設置してくれるのでしょうか。

西出建設水道部長

市道の照明については、相談させていただきます。全てを対応できるわけではないので、できる部分から対応させていただきたいと思います。

小笠原企画振興課長

出席者に対して個人情報を求めるのはなぜかということですが、どこの地域の方でも、会場を問

わずどこにでも出席できるということになっていきますので、こういった地域の方が会場にご参集いただいているのか確認したいということと合わせて、ご発言いただいたご意見・ご要望をどなたが発言いただいたのか記録を残す一助とする情報として得ておきたいと考えお願ひしています。これは記載しなければ参加できないというものではありませんので、ご協力いただける範囲でお願いしたいと思いますし、カードという形でお配りしていますので、他の方に見られることはないよう回収させていただき、情報については外に漏れないよう管理して取り扱わせていただきます。

市民

それであれば、住所だけでいいのではないかと思います。こういう個人情報を書かなければいけないとなると参加するハードルが高くなるのではないかと思います。

小笠原企画振興課長

ご意見としていただきます。必ず記載いただかなければいけないものではありませんので、書ける範囲でお願いをしたいと思います。

市民

昨年も伺いましたが、富良野神社のお便りに富良野市が広告を出しています。ということは、富良野市が宗教法人に支援していることでよろしいのでしょうか。

稲葉副市長

昨年も名刺広告ということで問題ないとお答えさせていただきましたが、改めて市の顧問弁護士に相談させていただきました。この関係については、直接宗教的な支援にあたらぬという見解をいただきましたので、引き続き名刺広告を行っています。

市民

顧問弁護士は名刺広告を出すことは支援に当たらないと考えるかもしれませんが、市民の多くは広告を出すことは支援していると受け取るのではないのでしょうか。

稲葉副市長

私たちとしては、宗教に対しての広告ではなく、市民の健康や安全に対しての名刺広告になっていますので、宗教的な支援にはならないという見解をいただきました。もし市民の方でそのような意見がありましたら、私の方で説明するなど対応したいと思います。

市民

これからも名刺広告をするということですね。

稲葉副市長

法令に違反しない限り続けたいと思います。

市民

健幸ポイントについて、スマホがない方に活動量計を1,000円でレンタルということだが、無償にしてはどうか。

現在600人が参加しているということですが、どれぐらいの人数を目標にしているのか。私はスマホがないのと、レンタルの方法を知らなかったのもっと手軽な方法がないのかと思いました。

柿本保健福祉部長

令和4年度からこの事業をデジタル化して進める際に、活動量計のレンタルを有償にするのか無償にするのかという議論がありました。無償で提供すると紛失や破損がある、有償にすることで責任を感じていただくなど、支援いただいている業者の助言もあり設定させていただきました。

参加いただいている方からは、ご理解いただいておりますので、このまま進めさせていただき

いと考えています。

参加者数の目標について、当初200名から順調に増加しています。現在、人口に対する割合としては3%程度です。研究データ等によりますと、このような事業は、参加者を人口の5~10%まで広げると、市民全体の健康状態の改善傾向が顕在化してくると伺っています。5%だと1,000人、10%だと2,000人になりますので、長い目で見てそれぐらい参加いただけるよう進めてまいりたいと考えています。

市民

外国人について、いやだなと思うことがあります。観光なのか就労者なのかわかりませんが、薄暗いコンビニの駐車場に座ってご飯を食べている様子を見ます。就労者の方は勉強されているのにイメージが良くない。私たちは見分けがつかないので、観光客に対してルールがあってもいいのではないかと。また、1年にどれぐらいの人数が住んでいるかわからないので、情報公開していただいて、よりよい富良野のために貢献してもらえたらいいと思います。

日本人の若者が事件を起こすと大抵無職が多い。そういう子たちを救うための学習の場がないのかなと思います。

本田経済部長

観光客なのか地元で働いている方なのか見わけがつかなく、不安に思うという話をいただきました。昨年1年間富良野市に宿泊数は延べ77万泊になり、そのうち外国人観光客は25万泊まで増えています。コロナ前は13万泊だったので、2倍近くになり、宿泊数ベースでは全体の3分の1は外国人となります。観光入込客数は年間189万人となっています。外国人の数値は把握できていませんが、泊数から想像するとかなりの人数が訪れていると予想できます。外国人の入込や宿泊の伸びが富良野市の経済循環を考えるうえで重要に

なっています。また、地元の人材としても必要になってきていることを地域懇談会でも説明させていただいています。受け入れる際には、言語や文化の違いもあります。そういったことも理解しながら、観光地としても受け入れていかなければいけないと思います。また、富良野市として文化の違いなどを広報することも必要だと思いました。

もし、観光客が訪れることで皆さんにご不便をおかけしたり、不快に思ったりすることがあれば市にご相談いただければと思います。住んでよし訪れてよしの観光地を作っていくうえで、皆さんが住みづらくならないように心がけていきたいと思っています。

#### 近内教育長

色々な地域で色々なことが起きていますが、一般的に地域社会、ご家庭が安定しているところで育ってきた子どもたちは自己肯定感が高く、規範意識も高いと言われています。毎年実施している全国学力学習状況調査で子どもたちに気持ちや考えの項目があります。この間、富良野市の子どもは全国から比べて、自己肯定感や規範意識、誰かの役に立ちたいという意識が高いです。その要因の1つはコミュニティースクールがあります。地域と学校が連携して色々な体験活動をしています。その活動を通じて、子どもたちも心が豊かになり、地域とのつながりを感じている。そういったもので成長に伴い強くなっていくのではないかと思います。こういったことを続けていく必要があると思います。

また、生活が困窮している世帯もあります。数年後に子ども計画として、若者支援として就労ともつなげていけるようなことを、関係機関とも協議して進めていきたいと思っています。

#### 市民

今年の12月からマイナンバーカードが保険証

と一本化されますが、富良野市のマイナンバーカードの保有率になっているのか。実際に保険証として使った場合のトラブルがどれくらいあるのか。外国人が多くなっているが、医療機関で現金しか使えないところもある。それらの対応はどう考えているのか。

#### 北川市民生活部長

6月1日付けの人口に対する保有枚数率は、富良野市で73.0%、北海道で73.3%、国で74.5%となり国や北海道と比較しても横並びの状況です。

マイナンバーカードと国民健康保険証の紐づけされている状況は63.2%となっています。

6月時点でのマイナ保険証を病院での利用率は、全国的に10.1%で、市は21.4%となり、紐づけされている方は医療機関で利用している実態があります。

市に寄せられているトラブルは薬局のカードリーダーで読み込めなかったというご意見がありました。カードの破損は確認できなかったので、医療機関のカードリーダーの不調かなと思います。個人情報情報が流失したなどの情報はありません。

#### 柿本保健福祉部長

医療機関での現金のみの支払いについて、あくまでも医療機関自身が運営上判断することですので、市からキャッシュレス決済を強制することはできません。ただ市内でも飲食店などでは導入が進んでいるので、長い目でみれば医療機関にもキャッシュレス決済が進んでいくと思います。いただいたご意見を医師会との意見交換で紹介したいと思っています。市で支援ができるのかを今後検討していきたいと思っています。

#### 市民

補助金を出して導入を進める制度はできないのか。行政として早く解決できるようにしてほしい。

本田経済部長

病院に限らず商店など、これから観光客や市民の皆さんでキャッシュレス決済を利用されている方が増えていると思いますので、買い物でも進めていくことが重要だと思っています。経済部ではキャッシュレス決済にも対応できる、IT化に対する補助金もあります。観光を進める立場ではお店だけではなく、補助金の事例も紹介しながら進めていきたいと思っています。

市民

事業所建設工事によって隣接する道路が破損していたが、今は修繕されておりどういう経過で修繕されたのか。

家の前の農地にバンカーサイロが建設されているが、これはどういう経過で建設されているのかを知りたい。

西出建設水道部長

そちらの道路については工事車両によって破損した部分があるので、多くは事業者負担してもらいました。

本田経済部長

しかるべき農地転用の手続きが行われて建設されているものなので、法的には問題がありません。

市民

道路修繕を市で負担するのはなぜでしょう。

西出建設水道部長

道路について、通常市として補修をする分については市が負担しました。路盤については事業者の負担で行ったということです。

市民

直したがまだへこんでいる部分がある。

西出建設水道部長

それについては、現地を確認して対応させていただきたいと思います。

市民

市が負担するはだめだと思います。工事によって破損したのであれば事業者が行うべきです。

西出建設水道部長

工事によって破損した部分は事業者負担してもらっています。それ以外で破損している部分は市が負担したということです。

市民

牧場の家畜ふん尿保管施設からあふれ出していると聞いた。河川が近いのでまずいのではないか。

本田経済部長

市では把握していないお話ですので、事業者を確認します。

市民

私も後期高齢者なり、年金から介護保険料が引かれている。市内で介護事業所が閉鎖などしていると新聞で知った。私たちは安心して介護サービスを受けることができるのだろうか。

柿本保健福祉部長

全国で共通の課題になっています。富良野市においては、事業者のご努力もあり、安定して介護保険事業を営んでいます。事業が縮小するなどの大きな要因は、他の事業と同じように担い手不足で、人材を確保するのが難しいことです。先ほどご紹介したように、外国人を雇用し確保している事業所もあります。

市として介護人材の確保に対する支援は行っていますが、今年から介護・医療の事業者に対して、更に手厚い支援を進めています。新たな事

業も始めているところです。来年度以降も新たな試みなど工夫しながら、介護事業の人材確保を図り、介護保険を利用する方々にご不便・ご心配をおかけしないよう努力したいと思います。

市民

数年前から麓郷振興会を通じ、南麓郷3の道道から市道の入り口のバンクがきついで道路拡幅をお願いしている。何年か前の地域懇談会でも伝えたが、何も話がなくそのままになっている。現在進行しているのかどうか教えてほしい。

市道に砂利を入れる基準はあるのか。気が付いた入っているところもあるが、近所は数年入っていない。部分的にでも砂利を入れてほしい。

西出建設水道部長

再度検討し、通行に支障がないよう対応ができるのか確認させていただき、お返事させていただきたいと思います。

砂利については、パトロールして対応していますが至らないところもありますので、地域要望や都市施設課に連絡いただければ現地確認して対応させていただきます。

市民

数年前から話はしているので現地見ているはずだか、また同じような回答になっている。同じようなことにならないように対応してもらいたい。

市民

麓郷街道でキツネが車を見かけたら寄ってくる。餌付けしていると噂も聞いたことがあるので、注意喚起してほしい。

本田経済部長

餌付けの事実は確認していません。調査は行いたいと思いますし、そのような実態を地域で確認した場合は連絡いただければと思います。

市民

地域懇談会に何年かぶりに参加したが、不愉快に感じている。今日、答える側の皆さんは真剣に答えているのだろうか。事後処理をどうしているのか。何年も前と同じことを回答されたということもあった。防犯灯についてもおかしいと思って聞いている。根本的なことが間違っているのではないか。観光客のマナーの悪さもあったが、市は何も対策案ができていない。簡単ではないことはわかりますが、市長懇談会で将来心配で聞いているのに答える側の真剣さが感じられない。来年からくる必要がないと思います。

市長に聞きますが、今日の質疑応答の内容がこんなのでいいのか。

北市長

ご指摘をいただいた防犯灯・街路灯について地域の事情はあると思いますが、市全体で公平感を保てるルールづくりをし、負担もいただいているということですのでご理解いただきたいと思います。

外国人の観光についても十分ではないとご指摘いただきました。こちらについては真摯に受け止めさせていただき反省させていただきたいと思います。ただ、担当者としては現在お答えできる部分はそこまでかと思います。

今すぐ対応できることではありませんが、将来、人口減少や少子化など社会的な困難はあるかもしれませんが、それを乗り越え、住んでいる方にとって住みやすい、満足感の感じられる、幸せが実感できるまちにしていきたいと思います。そういったまちづくりに向かうときは、率直なご意見をいただき、みなさんと一緒にまちを作っていく理念のもと、それに真摯に対応していきます。

市民

地域懇談会の意見は、広報紙などで見ることが

できるのか。他地域の意見も関心があるので、そういった意見をする期間はあるのか。

小笠原企画振興課長

各地域のご意見については、広報紙、市ホームページで公表しています。

市民

広報紙とお知らせ版について、月2回くるが1本化して配布した方が、経費削減になるのではないかと。配る方も1回の方が負担なくていい。

小笠原企画振興課長

現在、月2回発行し、地域の方にご負担をおかけして恐縮しているところですが、地域の方に支えていただき、感謝申し上げます。

イベントの日程や申し込み締め切りがあるものについては、適したタイミングでお伝えすることも大事な要素だと思っておりますが、いただいたご意見を踏まえて今後の課題として受け止めさせていただきます。

稲葉副市長

お時間になりましたので閉じさせていただきますと思います。最後に市長より一言お願いします。

北市長

情報提供にも熱心にお聞きいただいたことにも感謝申し上げます。地域のご意見で様々なご意見をいただきました。厳しいご意見もいただきましたがそういった意見が行政を変えていくこととなります。意見を言い続けていただくことが、皆様の想いに沿ったまちをつくっていくことになっていくのかと思います。できることは、速やかに対応していきたいと思っております。皆さんの意見が途絶えることはいけないと思っております。地域懇談会でご意見をいただきましたが、市役所は常に開いていますので、お気づきの点があれば、意見を届けて

いただければありがたいと思っております。

まちづくりの基本はみなさんと一緒にすすめていくことが大事だと思います。引き続き今後ともご協力いただきますようよろしくお願いいたします。限られた時間でしたが本日は大変ありがとうございました。

## 6. 閉会 ～小笠原企画振興課長～

## 令和6年度 未来をつくろう市民と市長の地域懇談会

日時 11月8日(金) 18:30~20:30

場所 布部会館

参加者 8人(うち職員1人)

### 1. 開会 司会~小笠原企画振興課長~

### 2. 市長挨拶

夜になると寒さが厳しくなるなか、布部会館に地域懇談会にお集まりいただきありがとうございます。また当地区の皆さんにおかれましては、行政運営、地域の振興発展に様々な形でご協力いただいていることに感謝申し上げます。とりわけ、今年の3月にJR根室線(富良野新得間)が廃線になりましたが、これに至る経過につきましては、ご理解ご協力をいただいたことにお礼申し上げます。ラストランの時には布部駅でも色々なイベントを開催していただきました。そのような対応に嬉しく、感激したところです。人口減少、少子化で利用者が減っていることも廃線の要因の一つになっているのかと思います。

人口が減る、子どもが減ることをマイナス思考に捉えるだけではなく、そうした中で、どのようなまちづくりが進められるのかを市民の皆さんと一緒に考えながら、未来につながる持続可能な富良野市の運営を進めていきたいと思っております。

子どもの育てやすい環境、子育て世代が仕事をするなかで、仕事に自信・誇りをもって仕事ができる。仕事をする中で家庭を支えることに自信を持つことも大事だと思います。高齢者も介護や福祉にも関心がありますが、富良野市は健幸なまちづくりを推進しています。いつまでの健康で自分の趣味などを続けられ、生きがいを感じられる居場所を作っていくことが大切かと思っております。そういったことから子どもたちが増え、この町に住んでいて良かった、このまちを訪れる方も富良野に住んでみたいと思ってもらえたらいいなと思っています。

今日の懇談会で将来につながるようなご意見を

いただければありがたいと思っています。また、意見交換では、地域の課題をお聞かせいただければと思います。すぐに対応できること、検討を要することあると思いますが、忌憚のないご意見をいただき、まちづくりを進めることが町全体の成長につながると思いますのでよろしく願います。

### 出席者紹介

- ・稲葉副市長
- ・近内教育長
- ・関澤総務部長
- ・西野SC戦略室長
- ・北川市民生活部長
- ・柿本保健福祉部長
- ・本田経済部長
- ・川上ぶどう果樹研究所長
- ・西出建設水道部長
- ・佐藤教育部長
- ・佐藤保健医療課長
- ・小笠原企画振興課長

### 3. 情報提供 進行~稲葉副市長~

#### 1) 市政執行方針重点施策の取り組みについて

- ・4つの重点施策の概要と主な取り組みについて  
~小笠原企画振興課長 資料について説明~

#### ・健幸ポイント事業について

~佐藤保健医療課長 資料について説明~

#### 2) 地域を支える外国人について

~小笠原企画振興課長 資料について説明~

市民

外国人の動画は興味深く見ました。長く富良野

にいる方も多くなってきているので、外国人も広報が読めるように多言語化対応してはどうか。

外国人が集まれるようなイベントを企画してはどうか。

今後も外国人は減ることはないと思うので、チラシや冊子を多言語化に対応するものを進めてはどうか。

稲葉副市長

今後の施策の参考にさせていただきたいと思います。

#### 4. 地域との意見交換

市民

JR の代替でバスが消防のところに停まるようになったが、石綿からくるお年寄りは大変なので、JR 駅までバスがくるようにならないか。

小笠原企画振興課長

バス停については、廃線時にも色々ご意見をいただき、バス会社とも協議して国道沿いから現在の場所に設置いただくことになりました。バス停を駅にというご意見は前々からいただいていたのですが、駅前のスペースの不足によって、大型バスの運行は難しいという安全面の都合から現在の場所になった経過があります。

バスはワンマン運行ですので、安全上バックなどの切り替えしは避けなければいけません。また、線路横の道路は幅員が足りないという理由もあることから、現在の場所でお願ひしたいところです。

市民

それでは駅までバスは来ないということですか。

小笠原企画振興課長

現段階では、そのようにお答えせざる負えませんが。

市民

地域の足がないと、高齢者は住んでいられない。引っ越してしなうので地域が成り立たなくなる。駅の後を活用できることを市役所で考えてくれているのか。また、回答は文書でいただければ地域に配りたいと思うがどうか。

バスが難しいのであれば、小さいバスを地域にまわるようなことはできないのか。

北市長

コミュニティバスは山部、東山、島の下で運行しています。また、オンデマンド交通は市街地で運行をしています。

コミュニティやオンデマンド交通は基準を設けて運行をしています。今の中で対応は難しいので、新たな基準を設けなければいけないかと思います。運行するとなる場合は、地域の方との意見交換もさせていただきたいと思います。

バス停を駅前に設置することについては、地域の切実なご意見をいただきました。バスの運行は運輸局の許可で運行をしています。今のルートは布部市街地を通るために、国道に信号を設置して許可をいただいて運行しています。

駅前にバス停を設置するために、ワンマンで運行可能な環境ができた時は地域と協議をさせていただきたいと思います。

小型化するということは、乗車人数の実態把握をしてからになるかと思います。

文書で配布ということですが、記録は公表していますので、そちらを活用していただければと思います。

小笠原企画振興課長

駅舎の活用について、現在、市内有志で事業を行おうと検討をしているところです。冬場の管理もしながら新年度以降に駅舎を活用した事業を行いたいということです。内容が確定しましたら、お

知らせしますし、事業者の方も地域と一緒に活用していききたいということでしたので、情報共有させていただきます。

市民

駅舎の活用は有志ということですが、駅舎を利用したい方は全国にたくさんいるのに、有志の方とだけ進めるのはどうなのか。

バス停について、廃止した線路を走るなどのルート設定など考えることはできないのか。

東大演習林の木材を販売している事業者がいるので、メイドインフラノに工芸品などを追加してはどうか。

小笠原企画振興課長

駅舎の利用について公募をしてはどうかというご意見ですが、駅舎はJRの資産なので、市が公募をすることにはならないと思っています。また、地域の方のご意向を最優先で考えたいと思います。地域で利活用の意思がない場合は、JRが通常資産と同様に公売の手続きに入ることになりますが、今のところは地元の意向を最大限尊重して進めさせていただいております。市民有志の方が進めているという説明をさせていただきました。

バスルートについて、色々なアイデアがありましたが、非常に長いバス路線になりますので、料金や運行時間に影響がでますので、できる限り効率的な路線を描かなければいけないので、利便性と総合的に勘案し、現在のルートになりました。今後、条件が変わったり、整ったりした場合はルート変更もあり得る話だと思いますので、引き続き課題として認識しながら検討したいと思います。

本田経済部長

メイドインフラノについて、地域の農畜産物を市内で食品として加工したものをメイドインフラノとして認定し、お土産や料理に活用するなど、地産地消を目的に行っている事業です。メイドイ

ンフラノとしてブランド価値を高めるものに工芸品も追加してはどうかという話ですが、調査研究していききたいと思います。

市民

駅の活用について、そのグループだけでしょうか。他にもいると思うので、確認するようなことをしてはどうか。

小笠原企画振興課長

あくまでJR資産なので主導的な立場ではないと思っています。市に問合せがあった場合はJRに繋ぐようにしています。他にも問い合わせは何件ありましたが、市として周知を図ることは考えていません。

市民

旧布部小中学校の体育館をスポーツセンターの代替として使われているが、いつまで使われるのか。また、グラウンドがきれいに管理してもらったが、いずれ売買して市が管理しないとなるのが怖いので、この先どうなるのか教えてほしい。

ごみ分別辞典に載っていないようなもの、例えばベストに熱線やファンがついているものなの、分別に迷うものがでてきた。更新する予定はあるのか。

佐藤教育部長

小中学校の跡地について、体育館は代替として利用しています。校舎の備品については、他の学校や市役所内で利活用しているところです。体育館の備品については代替が終了した後に学校や市役所での利用を確認後に、市民譲渡会を検討しています。施設の利活用についてはまだ検討していないところです。

北川市民生活部長

体育館は来年の4月までスポーツセンターの代

替として利用させていただきますのでよろしくお願いいたします。

ごみ分別について、分別できるものはできるだけ分けて排出していただくこととなります。辞典については、ご意見いただいたものを追記しながら対応していきたいと思っております。市民の皆さんのご協力によって、リサイクル率が90%を維持しています。今後もご協力いただき環境都市を目指していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

市民

JR 廃線の代替バス運行が要望したとおりになったことに感謝します。農村部の舗装も完成することに感謝します。

来年の春には川の浚渫をお願いしたい。砂防ダムも砂利でいっぱいだと思うので、対応してほしいと思う。

西出建設水道部長

河川の浚渫については、現地確認して対応します。砂防ダムについては関係機関と状況を確認して対応します。

市民

学校について、山部の教員住宅が売却された。購入希望者が市に問い合わせたが、まとめてじゃなければ販売できないと言われたとのこと。今後売却する場合は、分割して売却することを検討してはどうか。

稲葉副市長

ご意見として頂戴します。

市民

高規格道路の入り口について、基線から高規格道路に入るときに逆侵入しそうな方がいました。開発に連絡したが、いまだ変わらない。

また、予備信号がないので、高規格道路から山

部方面に走っている車が、信号無視をして走っているのも見かける。市の管轄ではないと思うが関係機関と連携してもらえたらと思う。

西出建設水道部長

市からも開発に要請してどのような対応ができるのかを相談したいと思っております。

市民

道道を扇山方面から走ってきて、消防の角を右折して国道に抜けるルートがあるが、右折するところがわからず、間違えて石綿まで直進してしまう車がある。トラックやトレーラーがあり、戻るのが大変なのを見た。標識があるのになぜ間違っているかわからないが、何か対策がないのか。

西出建設水道部長

そのような状況があると今お聞きしました。どのような対応があるのか、現状を確認して対応したいと思っております。

市民

スキー場のリフト券について、市が助成する意味はないと思う。何年前に行ったがリフト券助成やスキー道具のレンタルをしたが、あまり利用者がいなかった。そのようなことをまたやるのは費用の無駄だと思う。市民は1日より3時間利用の方が多いため、そちらに助成をしてはどうか。利用者を増やしたいなら回数制限は必要ないのではないか。

発表の時期について、シーズン券の販売は9月から始まるので、来年度以降も実施するのであれば、シーズン券の前に行ってはどうか。

移住や起業に対する支援をもっと手厚くしてはどうかと以前お話ししましたが、空知地域の自治体はもっと手厚く行っている。

稲葉副市長

ご意見として承りたいと思います。

稲葉副市長

ご意見がなければ閉めさせていただきたいと思  
います。最後に市長より一言お願いします。

北市長

長時間にわたり、行政が重点施策として取り組  
んでる内容をお聞きいただきました。

地域の課題、考え方についてお答えさせていた  
だきましたが、道路については、すぐに対応させ  
ていただきますが、バスについては地域の方と相  
談させていただきながら進めさせていただきたい  
と思います。

地域懇談会はこれで終了しますが、市役者は平  
日いつでも開いていますので、この後もお気づき  
の点があれば、市役所に届けていただければと思  
います。

地域の皆さんと行政が力を合わせて地域、富良  
野市を作っていくことが大事な時代になっていま  
すので、今後ご協力いただきますようお願い  
します。最後になりましたが地域懇談会にご協力  
いただいたことにお礼申し上げます。

**6. 閉会**     ～小笠原企画振興課長～

# 令和6年度 未来をつくろう市民と市長の地域懇談会

日時 11月22日(金) 18:30~20:00

場所 鳥沼会館

参加者 14人(うち職員6人)

## 1. 開会 司会~小笠原企画振興課長~

### 2. 市長挨拶

地域懇談会も今日が最後になります。この地域の開催が遅くなり申し訳ありませんでした。

外は寒くなり、雪もチラつく季節になり、足元が悪い中、鳥沼会館での地域懇談会にお集まりいただきありがとうございます。またこの地域には学校、国の子寮、自然公園など行政に関わる取り組みにご理解、ご協力いただいていること。地域の生活安定、友和、地域の振興発展に様々な形でご協力いただいていることに感謝申し上げます。

地域の抱える課題は多岐にわたります。人口が減るということは地域の活力、経済に影響を及ぼすので大変大きな問題だと思っています。国は地方創生ということで、予算倍増を掲げていますが、地域が個性に合わせて使いやすい事業にしていけることが大切だと思っていますし、行政もいち早くそれらを捉えて対応していくことが求められています。人口減少から働き手の不足、子育てを充実する中で少子化への対応も数多くでてきています。農業について、国が農業計画を具体的に作成に向かおうとしています。一つ一つの施策が将来にわたってどのように影響がでてくるのか、効果があるのかが大きな課題になってきます。まちづくりにもそういったものを活かしていくために、市民と一緒にまちづくりを進めていく、共創の取り組みが重要になってくると思います。

本日は限られた時間ですが、皆さんから忌憚のないご意見をいただき、行政が取り組みを進めている事業をさらに充実させることで、皆さんに多くの幸せを感じていただき、生活の中で充実感を感じていただけるまちを作っていければと思っています。

今年取り組んでいる4つの重点施策の概要を説明させていただき、皆さんからご意見をいただきより充実した施策にしていきたいと思えます。健幸ポイントについても順調に参加者が増えていますが、一人一人の健康やまちの健康を見えるかするためのデータ量としては、まだまだ足りないところがあります。ぜひ、健幸ポイント事業に参加いただき、それぞれの健康にも配慮いただき、まちの健康にもつながるということをご理解いただきたいと思えます。意見交換では、地域の課題をお聞かせいただければと思えます。よろしく願います。

### 出席者紹介

- ・ 稲葉副市長
- ・ 関澤総務部長
- ・ 西野 SC 戦略室長
- ・ 北川市民生活部長
- ・ 柿本保健福祉部長
- ・ 松木農林課長
- ・ 川上ぶどう果樹研究所長
- ・ 西出建設水道部長
- ・ 佐藤教育部長
- ・ 佐藤保健医療課長
- ・ 小笠原企画振興課長

## 3. 情報提供 進行~稲葉副市長~

### 1) 市政執行方針重点施策の取り組みについて

#### ・ 4つの重点施策の概要と主な取り組みについて

~小笠原企画振興課長 資料について説明~

#### ・ 健幸ポイント事業について

~佐藤保健医療課長 資料について説明~

### 2) 地域を支える外国人について

～小笠原企画振興課長 資料について説明～

市民

外国から来られている方は富良野市の人口としてカウントされていますか。

稲葉副市長

外国人登録されている方として、合わせて公表しています。

#### 4. 地域との意見交換

市民

個別に市外で健康診断を受けた情報を市に提出するのを忘れてしまうので、市外で受診したデータを直接市に送ることができればと思うのですが。

佐藤保健医療課長

市内で受診した場合は、データを送っていただけるのですが、旭川などは送ってもらうことができませんので、提出をお願いしています。直接が難しい場合はメールでの送付なども今後検討していきます。

市民

外国人の観光客が鳥沼公園に来る人が、鳥沼公園内に入ってきて「沼はどこですか」と聞いてくる。観光地として、周辺マップなどの案内看板を設置してはどうか。

鳥沼公園の看板が設置しているが、手前に電柱があってよく見えない。外国人の観光客が敷地内に入ってきて「鳥沼公園はどこか」と聞かれる。わかりやすいように看板を設置してはどうか。

稲葉副市長

何ができるのかを含めて、公園・観光の関係で検討させていただきます。

市民

鳥沼公園の駐車場に花壇があって、会館の花壇と合わせて、老人クラブが花を植えてくれている。老人クラブも高齢化になり、連合会にもうできないと相談があった。駐車場のところについて、市からお手伝いしてもらえないか。

西出建設水道部長

市に連絡いただければ、職員も一緒に整備したいと思います。来年になりましたら、老人クラブにお願いすることになりますが、職員も一緒にできればと思います。

市民

用水路にかかっている橋にテープを貼って通行できないようにしているが、「立ち入り禁止」などの看板はない。改修するなどの対応をすべきではないか。

西出建設水道部長

現在、長寿命化計画で改修する計画はありますので、改修するまでは、通行止めなどわかりやすく対応したいと思います。

市民

鳥沼の舗装化をしてほしい。特に9線5号の東側は車が通るたびすごく砂煙がまう。窓も開けられない状態。農作物にもかかり困っている。

7号川に土砂が溜まってきている。大雨が来たらあふれるのではないかと心配している。

帯状疱疹のワクチン助成を検討してほしい。

西出建設水道部長

舗装については、地域要望をいただきながら、市内全域で優先順位をつけて対応しています。今要望をお聞きしましたので、優先順位をつけて対応したいと思います。

河川の土砂上げについては状況をみて対応した

と思います。

柿本保健福祉部長

国では、定期接種化はしていなく、任意接種となっています。ワクチン接種は高額になるということで、担当課では助成に向けて検討しています。詳細が決まり次第、お知らせします。

市民

舗装については、除雪で飛ばした石が畑に入ることもある。

北市長

鳥沼・大沼地区だけの話ではありません。除雪で飛ばした砂利や傷んだ場所については対応できるものは対応しています。ただ、除雪については通学前の時間に早く終わらせなければいけないという課題もあります。どの地域も公平公正に行うため、地域で優先順位や要望をまとめていただき対応していきたいと思います。

市民

来年、この地域の開基 130 周年、学校が開校 120 周年を迎えます。約 20 年前の周年行事の時に鳥沼公園の池にニジマスを手放した。その後、ニジマスは外来魚だとわかり、ずっとモヤモヤしていた。市として外来種が発生した場合にどのような対応をするのでしょうか。

自分たちで鳥沼公園の駆除するようなことをしてもいいのか。

北川市民生活部長

過去、放流活動でニジマスを放流していたことがありましたが、今は厳しくなりできないようになってきました。外来種の駆除について、在来種の生態系に影響がある場合は駆除する場合がありますが、市内では行っていません。鳥沼公園のニジマスについては、生態系を調べる教材にもなって

いますので、いるものをあえて駆除することはないかと思いますが、都市公園でもありますので捕獲もできません。害が発生した場合は検討したいと思いますのでよろしくお願いします。

市民

鳥沼公園の水草がひどくなってきているが、あのままで問題ないのでしょうか。

西出建設水道部長

今年、若干取った部分もありますが、十分に切り切れていません。来年も対応したいと思います。

市民

美味しいぶどう果汁をまた飲むことはできないのか。

川上ぶどう果樹研究所所長

ぶどうの収量が少なく、一時期生産を止めていましたが、収量も増えてきたので、そろそろ再開できるかと思っています。もう少しお待ちください。

稲葉副市長

ご意見がなければ閉めさせていただきたいと思っています。最後に市長より一言お願いします。

北市長

こちらからの情報提供と意見交換を進めさせて抱きました。健康づくりについて取り組みを進めていまして、健康は自分が気を付けて運動したり、食生活に気を付けたりすること自身の健康増進につなげることとなります。そのきっかけづくりが健幸ポイントだと思います。それらのデータが蓄積することで、どういう生活習慣で健康が維持増進されるのか、市全体の健康寿命をどう伸ばせるのか、健康な中でどう幸せを感じることができるとかということに繋がります。ぜひ自らの健康、まちの健康のためにご参加いただければと思いま

す。

地域の課題についてもご意見いただきました。市全体に似たような課題が積みあがってきています。それぞれ優先順位を付けて対応していきたいと思います。市役者は平日いつでも開いていますので、この後もお気づきの点があれば、市役所に届けていただければと思います。

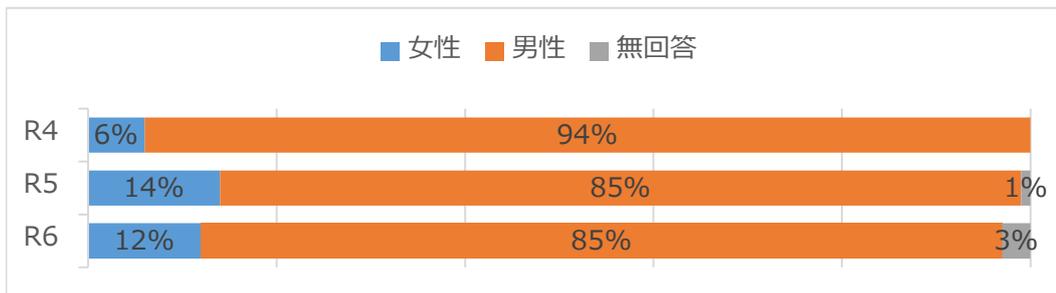
地域の生活環境について地域の要望をまとめて行政に届けていただくことも一つの方法だと思いますので、引き続きまちづくりに対してご意見をいただくことが、住みやすいまちづくりに繋がっていくと思います。高齢になっても集まる場所があり、幸せを感じてもらえる。若い方も仕事に自信と誇りを持って従事でき、その仕事が家族を支えることを実感できるようにしていきたいと思います。そのためにも皆さんからのご意見が大事な時代になってきていますので、行政運営の推進にご尽力いただければと思います。

季節は冬に向かい厳しさが増してきます。健康に留意いただき、今年も充実した1年だと締めくくれますようご祈念いたします。本日は地域懇談会にご協力いただいたことにお礼申し上げます。

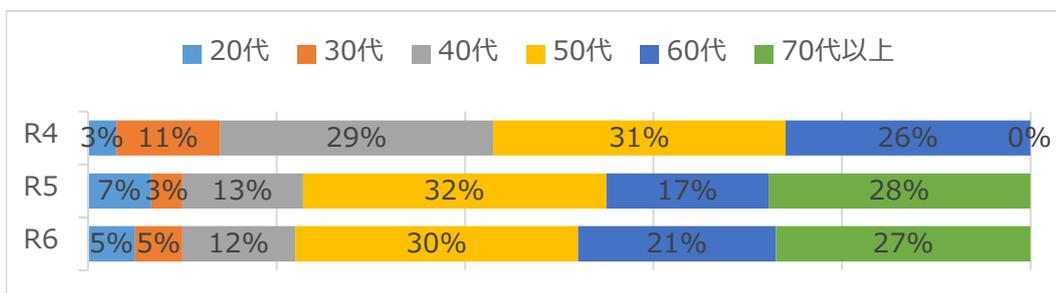
## 6. 閉会 ～小笠原企画振興課長～

## ■ アンケート集計結果

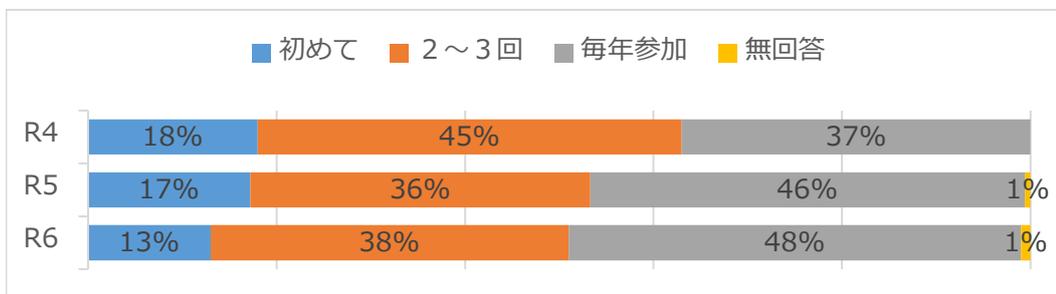
### 1. 男女別参加者の割合の推移 (R6アンケート回答者数114人)



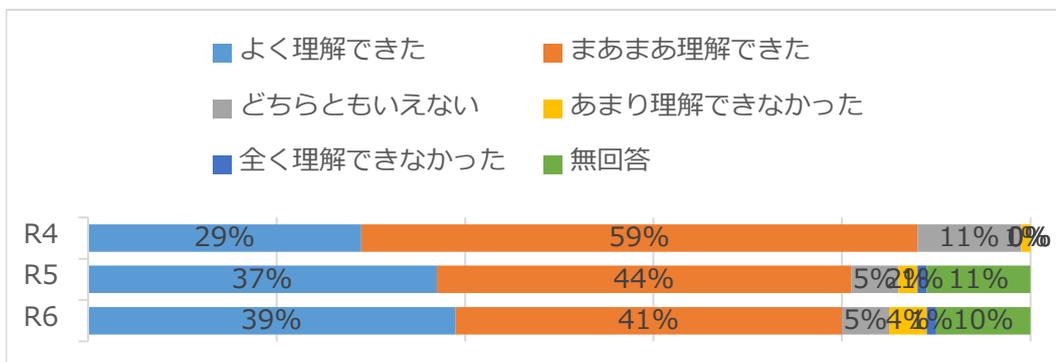
### 2. 年齢別参加者の割合の推移



### 3. 参加回数別参加者の割合の推移



### 4. 市からの提出資料や説明に対して理解できましたか？



5. 今回、地域懇談会に参加されたきっかけは何ですか？

